

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第36週 > 手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-8

< 腸管出血性大腸菌感染症 >
第36週の報告数は207例であり、累積報告数は3,059例であった



病原体情報
P.9-13

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2008年 / ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキーウイルス 2008年



速報
P.14-19

E型肝炎 1999年4月～2008年第26週



海外感染症情報
P.20

鳥インフルエンザ - インドネシアにおける状況 / イラクにおけるコレラ流行



感染症の話
P.21

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(36週)
P.22-27



36週のデータ
P.28-40



発生動向総覧

2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

< 第36週コメント > 9月10日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核324例

3類感染症

コレラ1例

感染地域: パキスタン

細菌性赤痢5例

感染地域: 国内(都道府県不明)1例、インド2例、タイ1例、インドネシア1例

腸管出血性大腸菌感染症207例(有症者133例、うちHUS 3例)

感染地域: 国内207例

国内の多い感染地域: 長崎県19例¹⁾、東京都17例、大阪府15例、岩手県14例、千葉県14例、福井県12例、福岡県12例²⁾、埼玉県9例、静岡県9例、石川県8例³⁾

集団発生: 保育園に関連¹⁾全例(第35週の3例とともに)

²⁾うち4例

飲食店(焼き肉店)関連³⁾うち4例

年齢群: 0歳(3例)、1歳(21例)、2歳(15例)、3歳(9例)、4歳(14例)、5歳(9例)、6歳(13例)、7歳(7例)、8歳(2例)、9歳(6例)、10代(27例)、20代(26例)、30代(15例)、40代(13例)、50代(14例)、60代(7例)、70代(3例)、80代(2例)、90代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT2(64例)、O157 VT1・VT2(63例)、O26 VT1(51例)、O145 VT1(4例)、O26 VT1・VT2(2例)、O103 VT1(2例)、O111 VT1・VT2(2例)、O121 VT2(2例)、O157 VT1(2例)、O91 VT1・VT2(1例)、O128 VT1・VT2(1例)、O145 VT2(1例)、その他・不詳(12例)

累積報告数: 3,059例(有症者2,070例、うちHUS 53例、死亡4例)

感染地域: 沖縄県1例、インドネシア1例

腸チフス2例

4類感染症

A型肝炎2例

感染地域: 東京都1例、韓国1例

デング熱4例

感染地域: インド2例(うち1例は腸チフスと重複感染)、タイ1例、フィリピン1例

マラリア2例

三日熱1例__感染地域: インドネシア

熱帯熱1例__感染地域: ウガンダ

レジオネラ症20例(肺炎型18例、ポンティアック型1例、無症状病原体保有者1例)
 感染地域: 宮城県2例、神奈川県2例、愛知県2例、広島県2例、秋田県1例(温泉)、埼玉県1例、山梨県1例、静岡県1例、滋賀県1例、兵庫県1例、岡山県1例、鹿児島県1例、国内(都道府県不明)4例
 年齢群: 40代(4例)、50代(4例)、60代(6例)、70代(3例)、80代(2例)、90代(1例)

レプトスピラ症1例 感染地域: 東京都__感染原因: 市場での作業

5類感染症

アメーバ赤痢8例(腸管アメーバ症6例、腸管及び腸管外アメーバ症2例)
 感染地域: 福島県1例、千葉県1例、大阪府1例、島根県1例、国内(都道府県不明)3例、インドネシア1例

感染経路: 経口感染1例、性的接触1例(異性間)、不明6例

ウイルス性肝炎2例 B型肝炎2例__感染経路: 性的接触2例(異性間1例、同性間1例)

急性脳炎1例 病原体不明__年齢群: 40代

クロイツフェルト・ヤコブ病1例
 遺伝性プリオン病家族性致死性不眠症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例
 年齢群: 40代(1例、死亡)、60代(1例)

後天性免疫不全症候群19例(AIDS 4例、無症候14例、その他1例)
 感染地域: 国内19例
 感染経路: 性的接触18例(異性間4例、同性間13例、異性/同性間1例)、不明1例

ジアルジア症4例 感染地域: 神奈川県1例、大阪府1例、インド1例、タイ/インド/ネパール1例

梅毒15例(早期顕症I期3例、早期顕症II期6例、晩期顕症1例、無症候5例)

破傷風3例 年齢群: 60代(1例)、80代(2例)

風しん1例(臨床診断例)
 感染地域: 北海道__年齢群: 5歳

麻しん20例(麻しん(検査診断例5例、臨床診断例10例)、修飾麻しん(検査診断例5例))
 感染地域: 国内19例、タイ1例
 国内の多い感染地域: 愛媛県4例、栃木県2例、東京都2例、神奈川県2例、山梨県2例、福岡県2例
 年齢群: 0歳(3例)、1歳(4例)、3歳(1例)、5～9歳(1例)、10～14歳(2例)、15～19歳(5例)、20～24歳(1例)、25～29歳(3例)

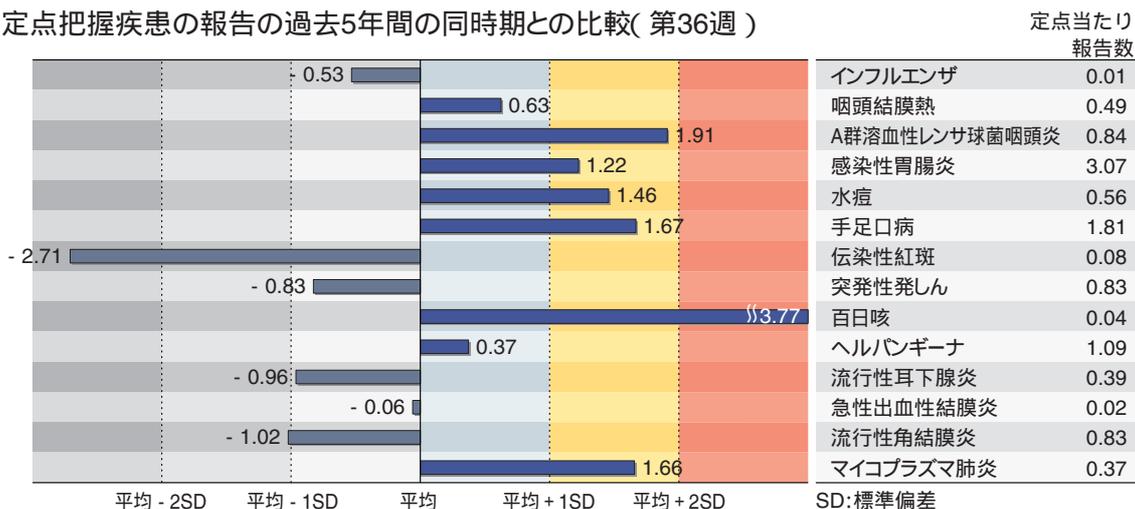
累積報告数: 10,735例(麻しん(検査診断例3,088例、臨床診断例6,687例)、修飾麻しん(検査診断例960例))

(補)他に、ジアルジア症1例、梅毒2例の報告があったが削除予定。また、2008年第35週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例(感染地域: インドネシア/シンガポール)、E型肝炎1例(感染地域(感染源): 中国(ヤギ肉))、デング熱5例(感染地域: インド3例、タイ1例、ラオス/スリランカ/モルディブ1例)、日本紅斑熱2例(感染地域: 三重県2例)、レジオネラ症2例(感染地域: 静岡県1例(温泉)、長野県1例(温泉))、アメーバ赤痢1例(腸管及び腸管外アメーバ症(死亡))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(40代(1例、死亡)、80代(1例、死亡))、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型: VanC 1例__菌検出検体: 血液、遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 血液)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第36週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は微減した。都道府県別では沖縄県(0.31)、栃木県(0.05)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症は836例の報告があり、報告数は3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では鹿児島県(2.11)、宮崎県(1.72)、愛媛県(1.35)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では大分県(2.28)、鳥取県(1.63)、山形県(1.47)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では大分県(7.7)、宮崎県(6.3)、福井県(5.9)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(1.83)、宮崎県(1.33)、新潟県(1.16)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では新潟県(12.4)、熊本県(4.9)、石川県(3.2)、長野県(3.2)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福島県(0.40)、新潟県(0.25)、埼玉県(0.20)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では福島県(0.13)、千葉県(0.09)、長野県(0.09)、沖縄県(0.09)が多い。

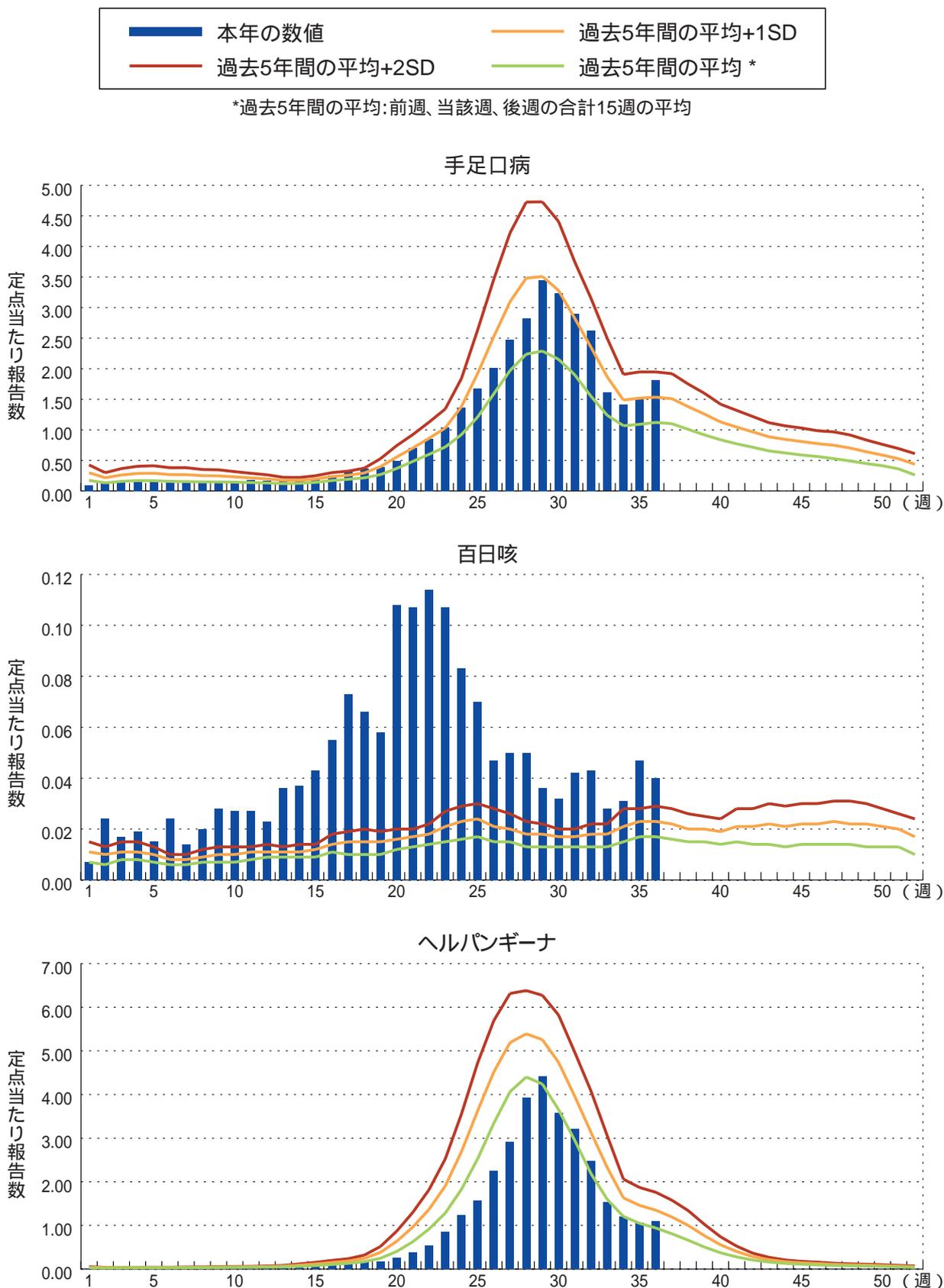
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山形県(5.0)、新潟県(4.7)、長野県(3.0)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では佐賀県(1.87)、宮崎県(1.75)、高知県(1.30)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(2.57)、福島県(1.57)、大阪府(1.36)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2008年第1 ~ 36週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





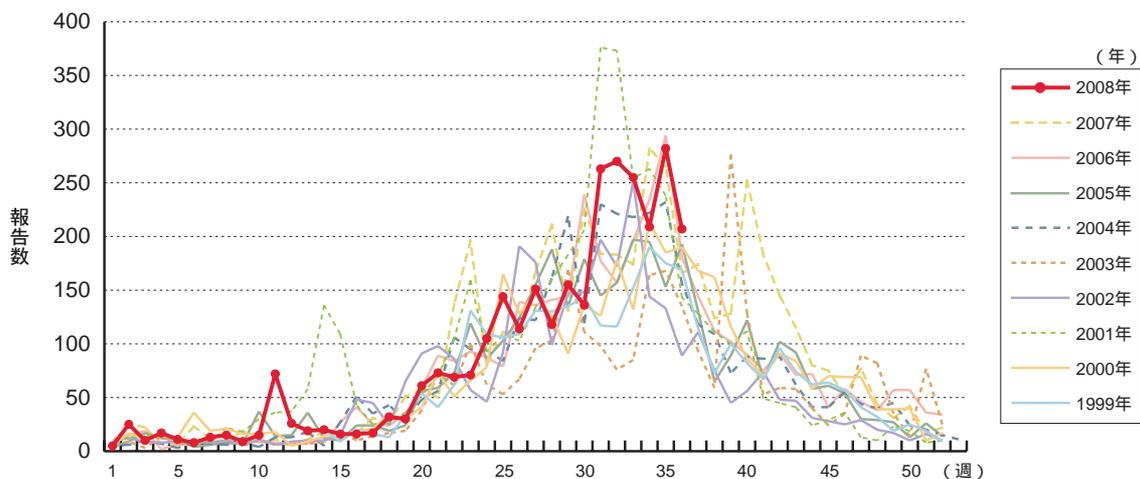
注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症 (2008年9月10日現在)

2008年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第11(～13)週に、オーストラリアへ修学旅行に行った高校生(76例)の集団発生があり一時的に増加した。その後、第18週から徐々に増加し始め、第24週に100例を超えた。第24～30週はほぼ100～150例で推移していたが、第31週に大きく増加し250例を超えた。第32週270例、第33週255例、第34週209例、第35週282例であり、第36週は207例であった。第36週までの累積報告数3,059例は、2000年以降では2番目に多い(2000年2,460例、2001年3,677例、2002年2,541例、2003年1,852例、2004年2,804例、2005年2,610例、2006年2,798例、2007年3,056例)(図1)。

第36週(9月1～7日診断のもの)の報告207例は、患者(有症状者)が133例(64%)で、無症状病原体保有者74例(36%)であった。35都道府県から報告があり、都道府県別では、長崎県(20例)東京都(18例)千葉県(16例)岩手県(15例)大阪府(15例)福岡県(13例)福井県(12例)宮城県(9例)埼玉県(9例)静岡県(9例)が多かった。感染地域はすべて国内例であった。国内の感染地域としての都道府県別では、長崎県(19例)東京都(17例)大阪府(15例)岩手県(14例)千葉県(14例)福井県(12例)福岡県(12例)埼玉県(9例)静岡県(9例)が多かった。長崎県(第35週からの発生)福岡県(第36週の発生)ではいずれも保育園に関連した集団発生があった。また、石川県(第35週からの発生)では飲食店(焼肉)での食中毒による集団発生があった。性別では男性95例、女性112例で、年齢群別では0～9歳99例、10～19歳27例、20～29歳26例の順に多かった。

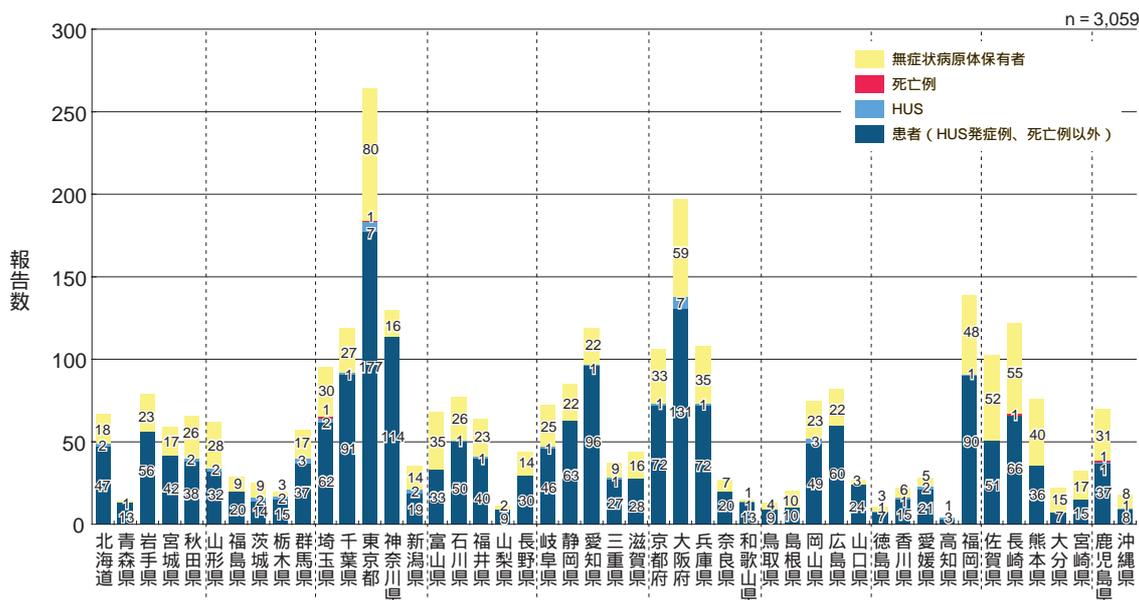
図1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(1999年14週～2008年第36週)



第1～36週(2007年12月31日～2008年9月7日診断のもの)の累積報告3,059例は、患者が2,070例(68%)、無症状病原体保有者が989例(32%)であった。報告はすべての都道府県からあり、報告の多い都道府県は、東京都(265例)大阪府(197例)福岡県(139例)神奈川県(130例)長崎県(122例)千葉県(119例)愛知県(119例)兵庫県(108例)京都府(106例)であった(図2)。感染地域は国内が2,960例、国外が94例、国内か国外か不明が5例であり、国内の感染地域としての都道府県別では、東京都(212例)大阪府(192例)福岡県(123例)長崎県(120例)京都府(110例)愛知県(102例)の順で多かった。性別では男性1,413例、女性1,646例であり、年齢群別では0～9歳1,097例(うち患者75%)、10～19歳496例(同79%)、20～29歳476例

(同75%) 30 ~ 39歳313例(同44%) 40 ~ 49歳170例(同44%) 50 ~ 59歳220例(同48%) 60 ~ 69歳137例(同55%) 70 ~ 79歳83例(同72%) 80 ~ 89歳59例(同76%) 90 ~ 99歳8例(同75%) であった。

図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告状況 (2008年第1 ~ 36週)



溶血性尿毒症症候群 (HUS) は、前週の集計 (9月3日) 以降に新たに6例が報告され、第36週までに53例報告となった。53例のうち17例は、菌は分離されなかったが、血清抗体の検出によって届け出られたものである。都道府県別では、28都道府県 (東京都7例、大阪府7例、群馬県3例、埼玉県3例、岡山県3例、北海道2例、秋田県2例、山形県2例、茨城県2例、栃木県2例、新潟県2例、愛媛県2例、千葉県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、和歌山県、兵庫県、徳島県、香川県、高知県、福岡県、長崎県、鹿児島県、沖縄県各1例) から報告があった。年齢は0 ~ 4歳が29例、5 ~ 9歳が12例、10代が9例、20代が1例、50代が1例、80代が1例となっており、53例中47例が15歳未満の小児であった (表)。原因菌が分離された36例でみたO血清群・ベロ毒素抗体 (VT型別) では、O157 VT1・VT2 18例、O157 VT2 15例、O111 VT1・VT2 1例、O121 VT2 1例、O157 VT2及びO26 VT1 1例であり、血清抗体 (O抗原凝集抗体) により診断されたもののO血清群は不明の3例を除いてすべてO157であった。感染源としては、53例中生肉・生レバー8例、生せんまい (牛の胃) 2例、焼肉4例、バーベキュー4例、ステーキ1例などが挙げられていた。

死亡例は第36週までに4例が報告された。2歳男性 (O157 VT2 .HUS発症)、60代女性 (O157 VT2)、80代男性 (O157 VT2)、80代女性 (O157 VT2 .HUS発症) である。

腸管出血性大腸菌感染症は、わが国において、毎年約3,000 ~ 4,500例の報告が続いている疾患である。本年は、2000年以降の過去8年間の同時期までの発生数との比較では、2007年を追い越し、2001年に次いで2番目に多い報告数となっている。保育園に関連した集団発生は後を絶たず、今週も新たな発生があった。重症の合併症であるHUSは53例の報告となり、患者の2%以上、5歳未満に限れば5%以上に合併している。また、HUS発症例2例を含み、死亡例は4例報告されている。

表. 腸管出血性大腸菌感染症の溶血性尿毒症症候群 (HUS) の年齢群別報告数(2008年第1 ~ 36週)

	総届出数	患者	HUS	HUS/患者
0 ~ 4歳	681	501	29	5.79%
5 ~ 9歳	416	320	12	3.75%
10 ~ 14歳	234	192	6	3.13%
15歳以上	1,728	1,057	6	0.57%
総計	3,059	2,070	53	2.56%

第36週も200例以上の報告があり、未だ発生の多い状況が続いており、引き続き予防対策の徹底が求められる。HUS53例の感染源として、肉類に関連するものは18例、うち生食が10例あり、食品の取り扱い等の一般的な食中毒対策に加え、特に、小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは、肉・レバーなどはよく加熱し生食は控えること、生肉などに使用した箸などにも注意することが肝要である。また、患者・無症状病原体保有者から周囲の人々への感染が起こりやすい疾患なので、手洗いの励行等の二次感染予防対策の一層の徹底が重要である。

(補) 腸管出血性大腸菌感染症については、
週報IDWR

- ・ 感染症の話 : http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_06/k02_06.html
- ・ 注目すべき感染症
第25号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-25.pdf>
第27号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-27.pdf>
第29号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-29.pdf>
第30号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-30.pdf>
第31号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-31.pdf>
第32号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-32.pdf>
第33号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-33.pdf>
第34号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-34.pdf>
第35号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-35.pdf>
- ・ 速報「 修学旅行先において腸管出血性大腸菌(EHEC)O26に感染したと思われる事例 - 佐賀県 」 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-20.pdf>
- ・ 速報「 焼肉店が原因施設とされた腸管出血性大腸菌O157 : H7食中毒事例 - 福井県 」 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-21.pdf>
- ・ 速報「 修学旅行先において腸管出血性大腸菌O26に感染したと思われる事例 - 藤沢市 」 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-34.pdf>

月報IASR

- ・ < 特集 > 「 腸管出血性大腸菌感染症 2008年4月現在 」 : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/339/tpc339-j.html>
- 菌の検出状況 : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html>

などをご参照ください。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

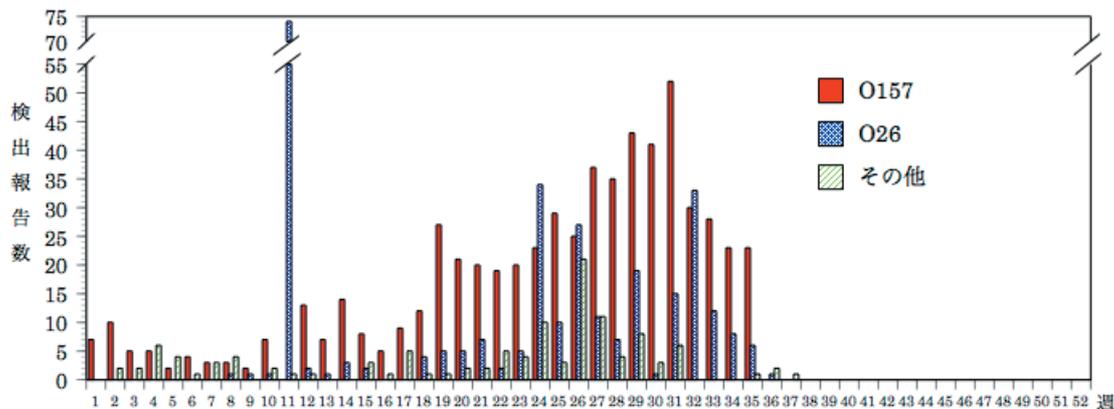
(2008年9月11日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年

2008年の検出総数は1,030件で、O157が612件、O26が298件、その他の血清型が120件報告されている。O157は大阪府84件、福岡県41件、群馬県33件、富山県29件、石川県、岐阜県各28件、山形県27件、三重県25件、山口県、愛媛県各24件、滋賀県、佐賀県各23件、東京都、長野県各22件、静岡県21件、奈良県19件、千葉県18件、広島県16件、宮崎県13件、宮城県12件など35都道府県から報告されている。O26は佐賀県76件、東京都53件、富山県37件、神奈川県26件、山形県、新潟県各13件、石川県12件、群馬県11件、静岡県10件、千葉県7件、宮城県、大阪府各6件など25都道府県から、その他の血清型は山形県22件、福岡県18件、千葉県15件、群馬県9件、石川県、東京都各8件、長野県7件など23都道府県から報告されている。

直近の4週間に発生した集団事例では、第31～33週に山形県の学童保育における集団発生からO26、第32～34週に群馬県の焼肉店における集団発生からO157、第35週に佐賀県の保育園児とその家族の集団発生からO157が検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2008年 (病原微生物検出情報: 2008年9月11日現在報告数)

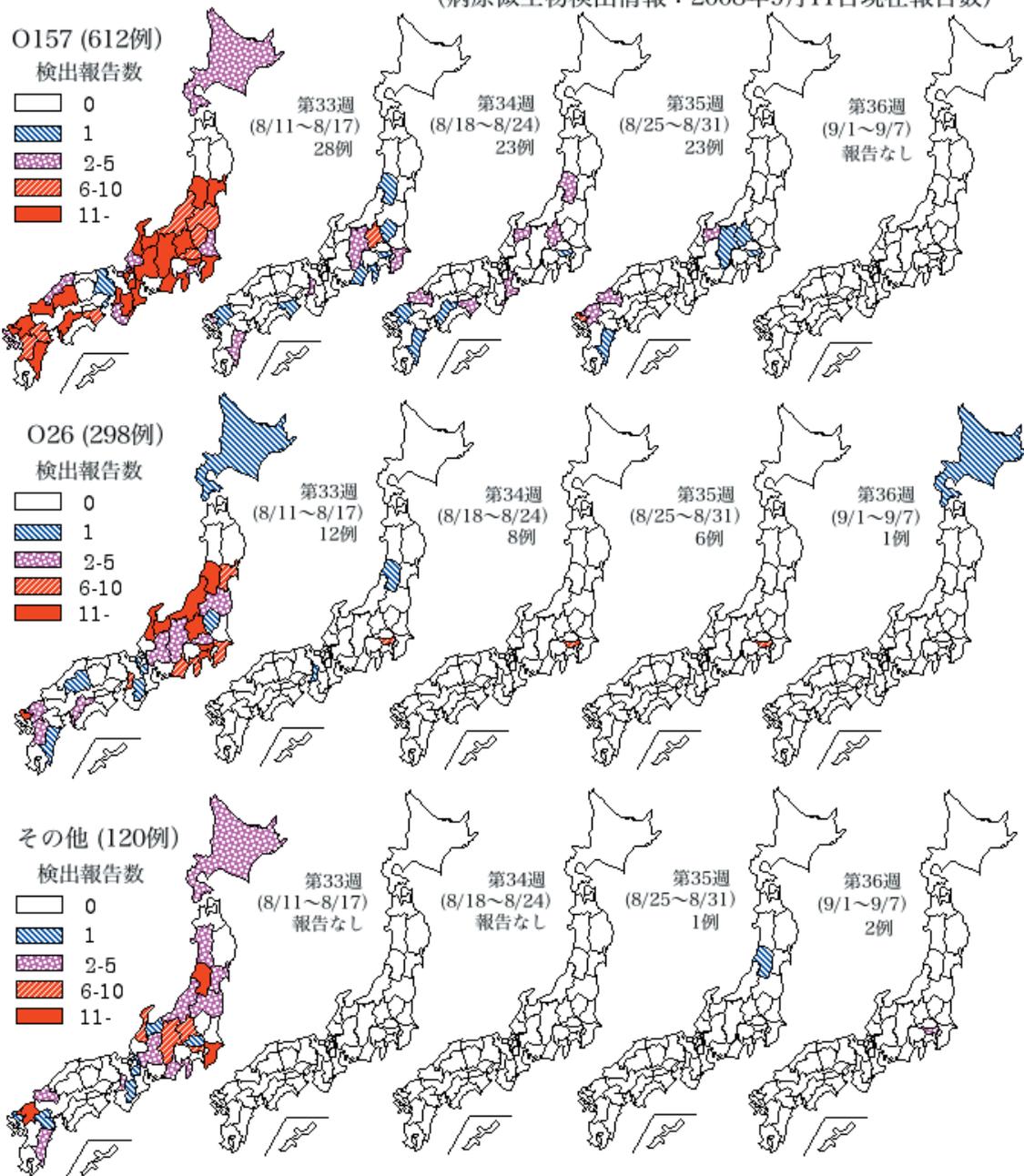


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年9月11日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

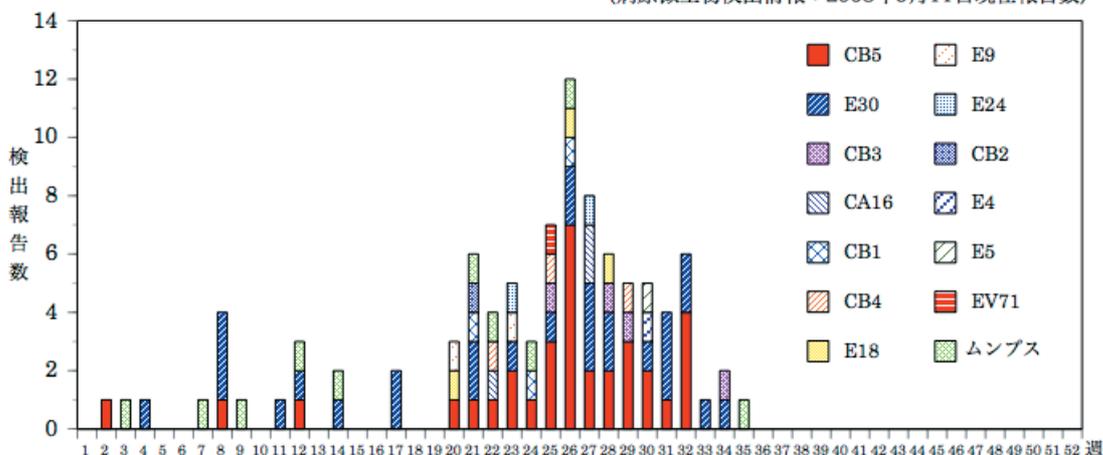
Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2008年

第25週以降、B群コクサッキーウイルス(CB)5型の検出が増加し、第35週までに大阪府9件、福岡県8件、愛媛県4件、大分県3件、奈良県2件など12府県から33件が報告されている。その他のエンテロウイルスでは、エコーウイルス(E)30型が大阪府8件、石川県4件、千葉県、福井県各3件、愛知県、奈良県、鳥取県、愛媛県、福岡県各2件、計28件、CB3が4件(島根県、愛知県)、CB4(滋賀県、大阪府、兵庫県)、CB1(愛知県)、CA16(大分県、石川県)、E18(島根県、広島県)が各3件、E9(大阪府)、E24(福岡県)が各2件、CB2(大阪府)、E4(富山県)、E5(大阪府)、E6(大阪府)、エンテロウイルス71型(EV71)(大阪府)、ポリオ2型(京都府)、ポリオ3型(福岡県)が各1件報告されている。ムンプスウイルスは10件(埼玉県、千葉県各2件、秋田県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、高知県各1件)が報告されている。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告数、2008年

(病原微生物検出情報：2008年9月11日現在報告数)

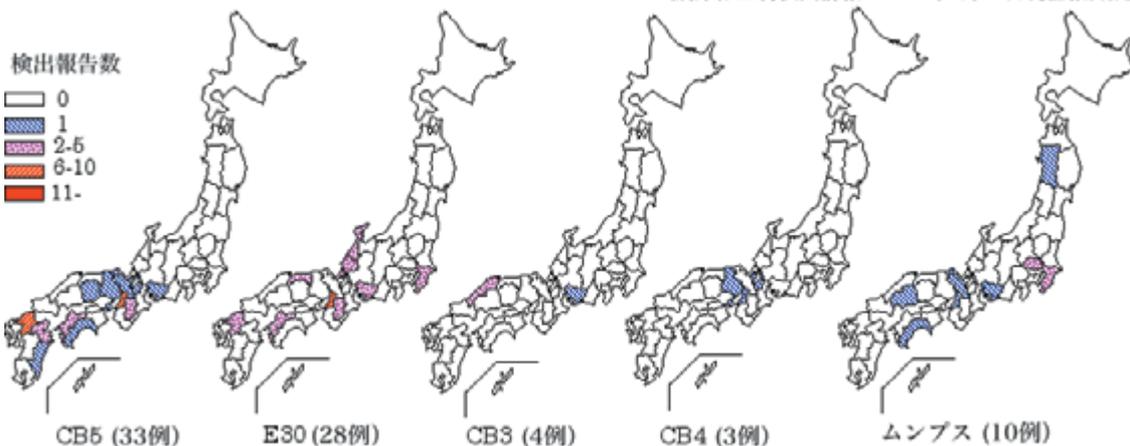


*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年9月11日現在報告数)



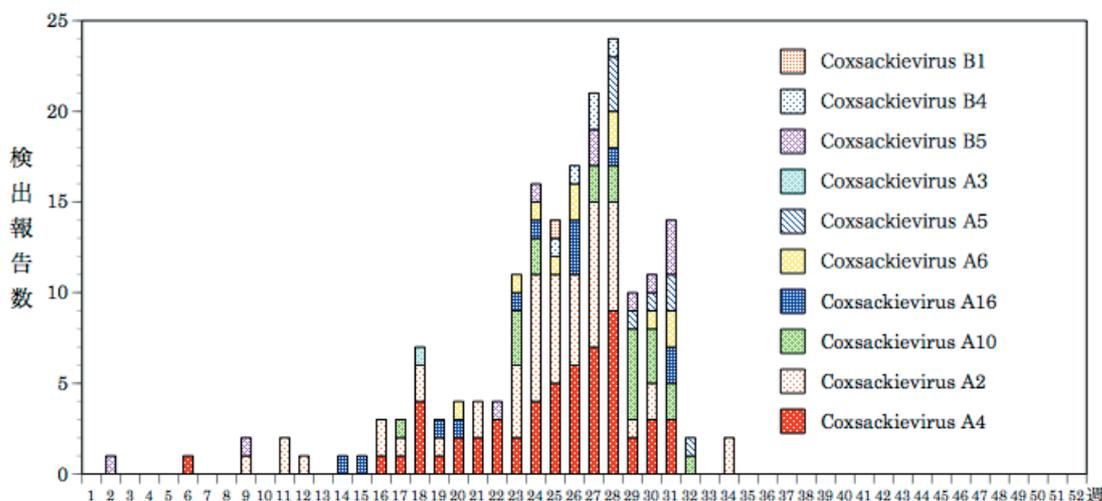
*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキーウイルス 2008年

A群コクサッキーウイルス(CA) γ 型とCA2の検出が増加し、第34週までにCA4が56件(佐賀県7件、高知県6件、愛知県、三重県各5件、神奈川県、大阪府、福岡県各4件、長野県、京都府、島根県、熊本県各3件、宮城県、大分県各2件など18府県) CA2が53件(愛知県20件、島根県8件、三重県、滋賀県各5件、神奈川県、奈良県各3件、秋田県、鳥取県、岡山県各2件など12府県) 報告されている。その他には、CA10が21件(長野県10件、鳥取県3件、宮城県、栃木県、埼玉県各2件など7県) CA16が12件(大阪府3件、三重県2件など9府県) CA6が11件(鳥取県4件、千葉県、神奈川県各3件、埼玉県1件) B群コクサッキーウイルス(CB) γ 型が11件(兵庫県4件、大阪府、福岡県各2件など6府県) CA5が8件(神奈川県5件、鳥取県3件) CB4が5件(大阪府) CA3(福岡県) CB1(愛知県) が各1件報告されている。

週別ヘルパンギーナ患者からのコクサッキーウイルス分離・検出報告数、2008年
(病原微生物検出情報：2008年9月11日現在報告数)

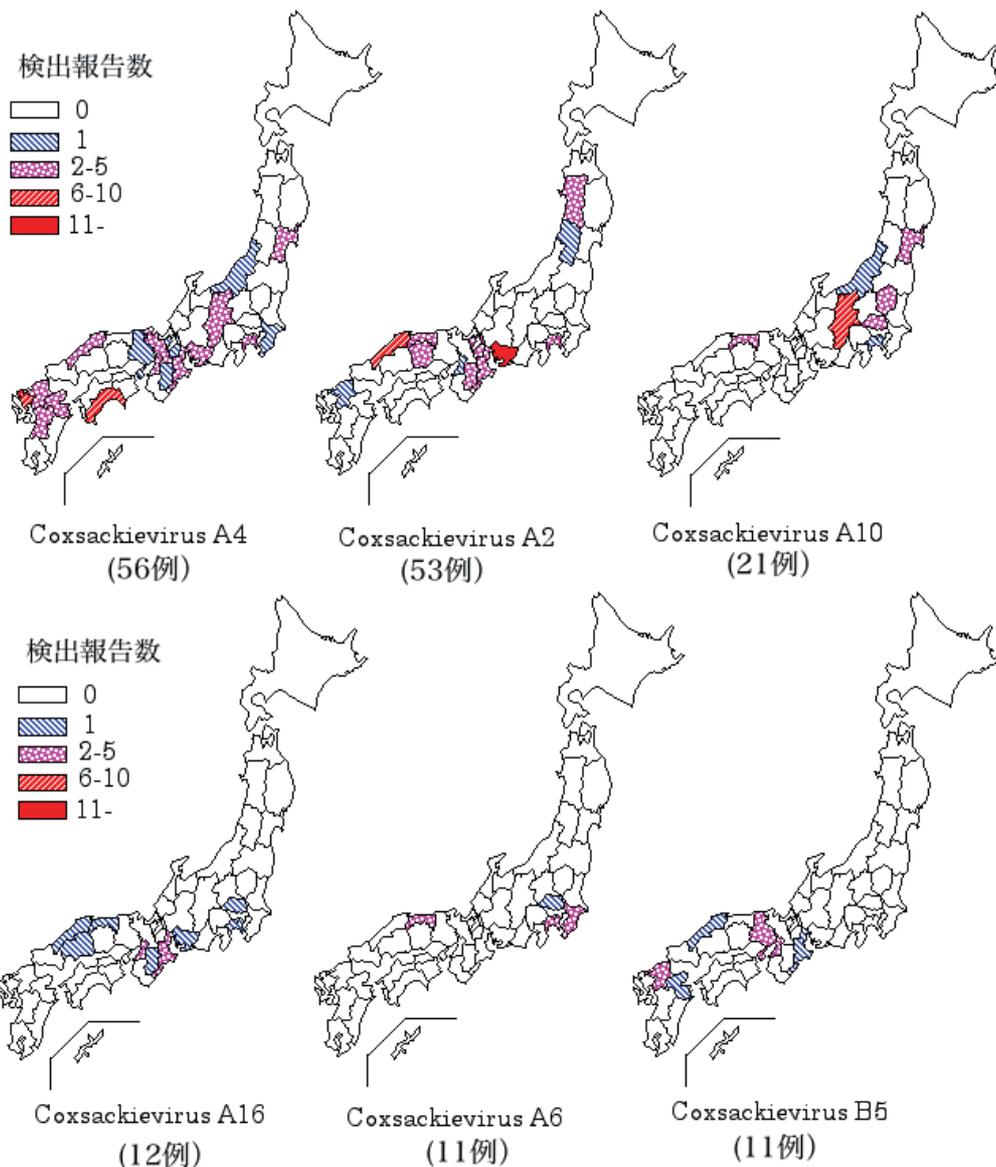


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告状況、2008年
(病原微生物検出情報：2008年9月11日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した





E型肝炎 1999年4月 ~ 2008年第26週

(2008年7月2日現在)

E型肝炎はE型肝炎ウイルスが経口感染することによっておこる疾患である。従来水系感染が主であると考えられており、インド、中央アジア、北アフリカ、中国などでの大規模な集団発生が知られている。欧米諸国や日本などの先進国では散発的に発生し、途上国への渡航により感染するものが大半を占めると考えられていたが、近年、渡航歴のない患者発生が散見されるようになり、先進諸国においてもE型肝炎ウイルスが土着していると考えられるようになった。

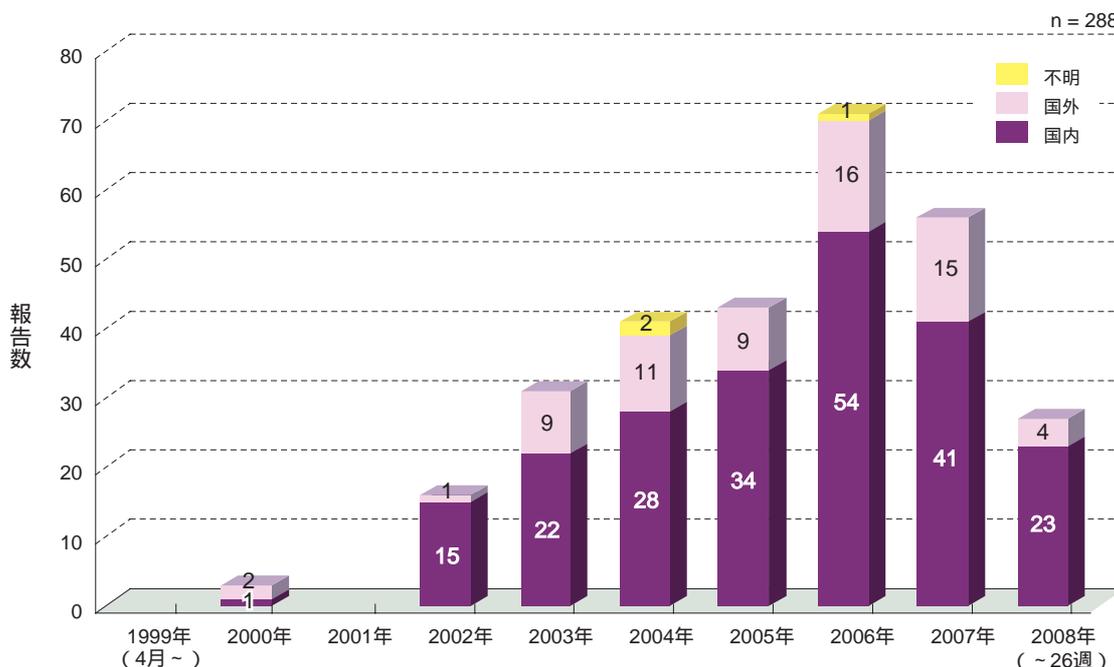
臨床経過としては、3 ~ 8週間(平均6週間)の潜伏期を経て、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、発熱などの症状で発症する。小児での不顕性感染はA型肝炎ほどには多くない。通常は1カ月間で完治し、慢性化することはない。しかし、時に劇症化して死に至ることもあり、致命率は全体で1 ~ 2%とA型肝炎と比較して高く、特に妊娠第3半期の妊婦では20%に上るとの報告もある。

報告数推移

E型肝炎は、1999年4月の感染症法施行から急性ウイルス性肝炎の一部として全数把握の対象疾患となり、さらに感染症法の改正によって、2003年11月5日からは単独疾患として四類感染症に分類され、無症状病原体保有者を含め、すべての医師に届出が義務付けられている。

感染症法のもとで報告されたE型肝炎の発生動向をみると、1999年(4月 ~)例、2000年3例、2001年0例、2002年16例、2003年31例、2004年41例、2005年43例、2006年71例、2007年56例、2008年[~ 第26週(~ 6月29日)]27例であった。2007年は2006年より減少したものの、2002年以降増加傾向が認められ、とくに2006年は大きく増加した(図1)。この増加については、病原体検査(HEV IgM抗体検査、RT-PCR法)の普及や、E型肝炎に関する医師の理解が深まったことによる影響なども考えられ、発生そのものが急増しているとは一概には言えない。

図1. E型肝炎の年別・感染地域別報告数



報告症例全体の概要

1999年4月(感染症法施行)~2008年第26週に報告された累積報告数は288例であり、都道府県別では39都道府県から報告された(図2)。288例のうち、無症状病原体保有者は3例であった。推定感染地域別では、国内感染例218例、国外感染例67例、不明3例であった(図1)。E型肝炎の潜伏期は比較的長いため、国外感染が認識されない可能性も考える必要がある。

性別では男性236例、女性52例で男性に多い。年齢中央値は55歳(14~86歳)(男性55歳(14~86歳)、女性55歳(25~82歳))で、50代(78例)、60代(67例)に多く、特に男性の50代、60代だけで全体の半数近くを占めている(図3)。

死亡の報告は4例あり、いずれも男性で50代1例、60代2例、70代1例であり、それらの集計による致死率は1.4%であった。但し、感染症法のもとでは診断した医師からの届出は原則診断時の1回であるため、死亡の報告については届出時点以降での発生が十分に反映されていない可能性がある。

感染経路(推定または確定として報告される)をみると、経口感染の記載があり飲食物の記載があったもの128例、輸血3例、その他・不明157例であった。飲食物の内訳では(複数記載のものを含む)ブタ52例(27例は肝臓、14例はホルモン(5例は肝臓とともに摂取)、生の記載が14例にあり)、イノシシ31例(肝臓10例、心臓2例(いずれも肝臓とともに摂取)、ホルモン1例、生の記載が7例にあり)、シカ24例(生の記載が11例にあり)、その他28例であった。なお、シカとイノシシには7例で重複がみられた。

症状の報告については、2006年4月以降、それまでの自由記載から主な症状については選択可能な様式となった。そこで、2007年に報告された56例のうち患者(有症状者)54例について集計すると、肝機能異常47例(87.0%)、全身倦怠感46例(85.2%)、黄疸34例(63.0%)、食欲不振30例(55.6%)、発熱24例(44.4%)、肝腫大12例(22.2%)であり、その他の症状として、褐色尿2例、腹痛、右季肋部痛、眠気、下痢、咽頭痛各1例が記載されていた。

診断方法をみると、血清IgM抗体の検出により診断されたものは241例であり、PCR法は95例で、48例は重複していた。遺伝子型は36例で判明しており、その内訳はG1が1例、G3が12例、G4が23例であった。

図2. E型肝炎の都道府県別・感染地域別報告数(1999年4月~2008年第26週)

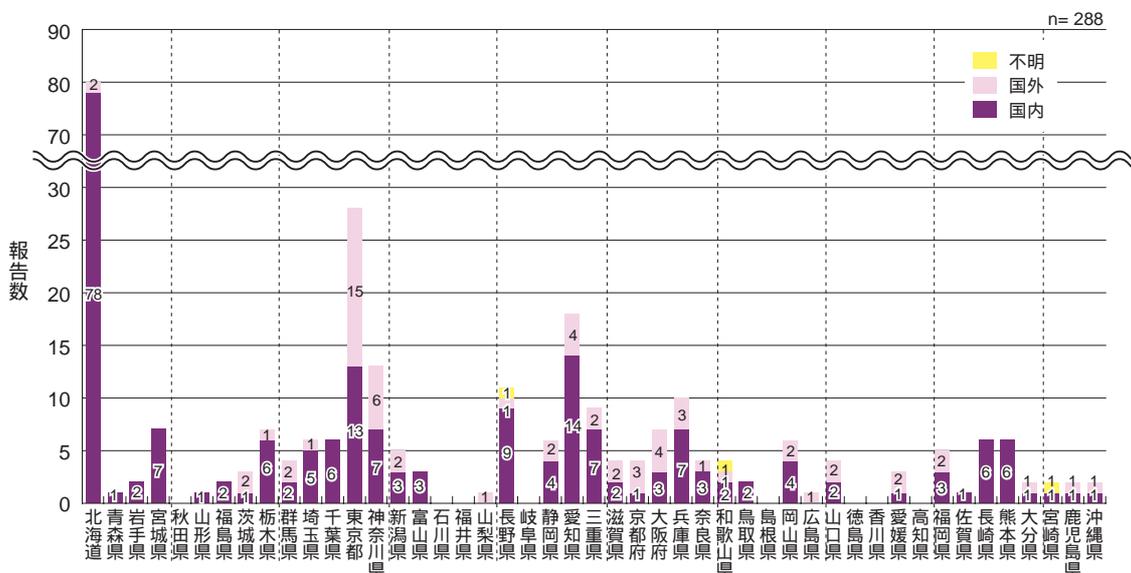
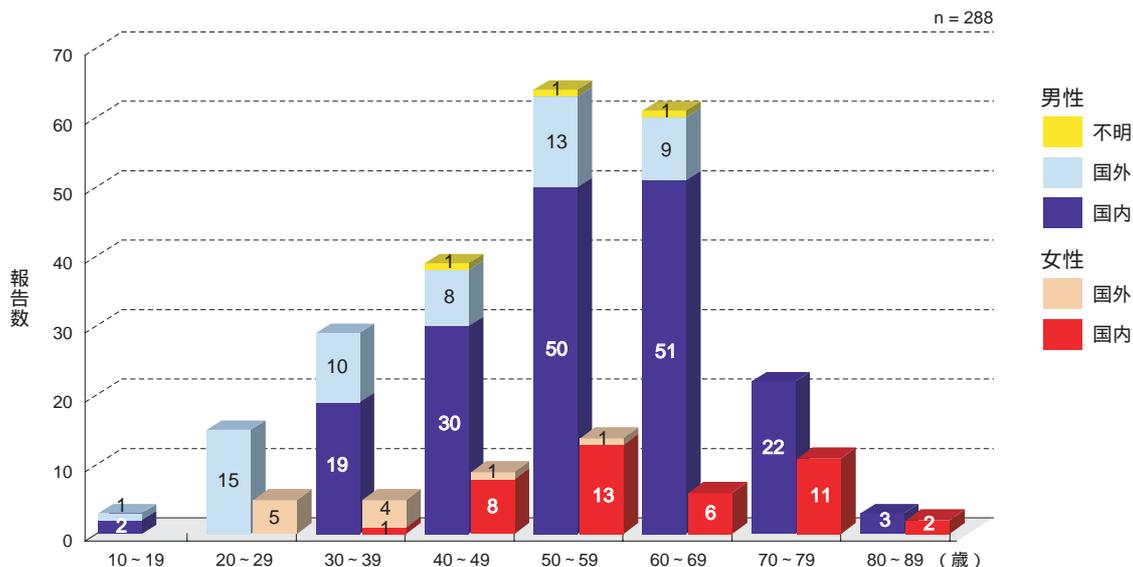


図3. E型肝炎の性別・年齢群別・感染地域別報告数(1999年4月 ~ 2008年26週)



国内感染例

国内感染とされた218例は、性別では男性177例、女性41例で、年齢群別では50代(63例)、60代(57例)が多く、年齢中央値は57歳(14 ~ 86歳)、男性58歳(14 ~ 86歳)、女性57歳(34 ~ 82歳)であった。都道府県別では北海道(78例)が飛びぬけて多く、次いで愛知県(14例)、東京都(13例)、長野県(9例)の順であった(図2)。感染地域として都道府県名まで報告されるようになったのは2006年第13週以降であり、それ以降の国内感染例として報告された100例についてみると、報告地都道府県と感染地都道府県の異なっていたものは13例あり、報告地/感染地は、東京都/群馬県、神奈川県/埼玉県、愛知県/滋賀県、奈良県/大阪府、山口県/北海道が各1例、残り8例は感染地都道府県不明であった。発病年月日の記載があったものは196例あり、発病時期については、全体に夏から秋と比較して、冬から春にかけて報告の増加傾向がみられた(図4)。この点については後述するが、感染源と考えられ得るイノシシやシカ猟の解禁時期が一般に11月から2月であることと関連している可能性が推察される。

218例のうち、感染経路が経口感染と記載され、さらにその飲食物の種類が記載されたもの111例について、地域ブロックと感染原因飲食物を図5に示した。飲食物の内容は、ブタ47例(うちブタを含み複数記載されたものとして、ブタ・ウマ、ブタ・ホタテ、ブタ・貝類各1例)、イノシシ24例、シカ15例、イノシシ及びシカ7例、シカ及びクマ1例、その他としては、種類不詳の肉や魚貝類などの記載があった。ブタ47例のなかで、26例が肝臓を、14例がホルモンを食しており、13例に生食の記載があった。地域ブロック別では北海道23例、関東・甲信越より14例が報告された。イノシシ計31例のなかで、10例が肝臓を食しており、7例に生食の記載があった。九州より14例、東海北陸より8例、中国四国より5例の報告があった。シカ23例のなかでは、肝臓を食したのは1例のみで、9例に生食の記載があった。九州より7例、近畿より6例、北海道より4例報告された。

218例のなかで発病年月日の記載のあった196例を報告月別でみると(図4)、1月から4月にかけての報告が明らかに多く、イノシシやシカの野生動物摂取例もまた主に1月から4月にかけて報告されている。前述したようにイノシシ猟やシカ猟の解禁期間は一般に11月から2月であるので、1月から4月はこの期間に潜伏期間を加味した期間と考えることができるだろう。飲食物の種類と報告地域からみると、ブタ摂取例が北海道、東北、関東・甲信越で多くみられるのに対し、イノシシおよびシカ摂取例は東海北陸、近畿、中国四国、九州で多くみられた。イノシシやシカを食する習慣が、国内におけるE型肝炎の疫学に影響を及ぼしていることがよくわかる。

218例のなかで遺伝子型を把握できたものはG3型が11例(北海道3例、東北3例、関東・甲信越3例、東海・北陸1例、近畿1例)であり、うち3例はブタ摂取例であった。G4型が22例(北海道20例、関東・甲信越1例、東海・北陸1例)であり、8例はブタ摂取例、1例はイノシシ摂取例であった。厚生労働科学研究班報告書や文献にも示されているとおり、わが国におけるタイプはG3型あるいはG4型であることが示唆された。

図4. E型肝炎国内感染例の発症月別報告数(1999年4月 ~ 2008年26週)

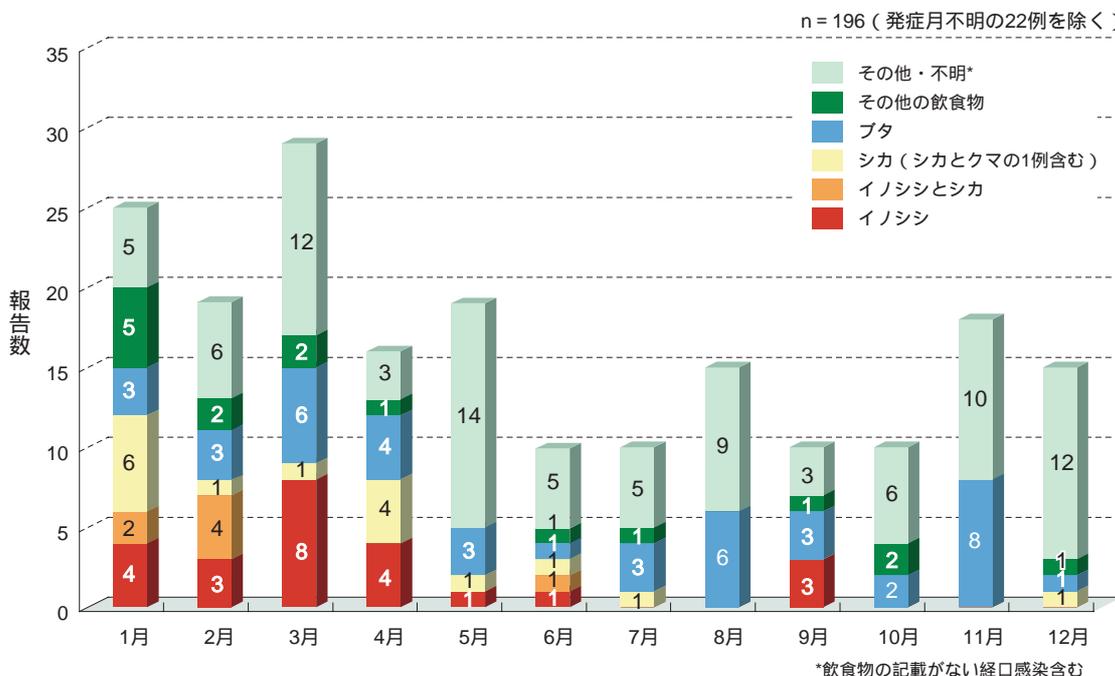
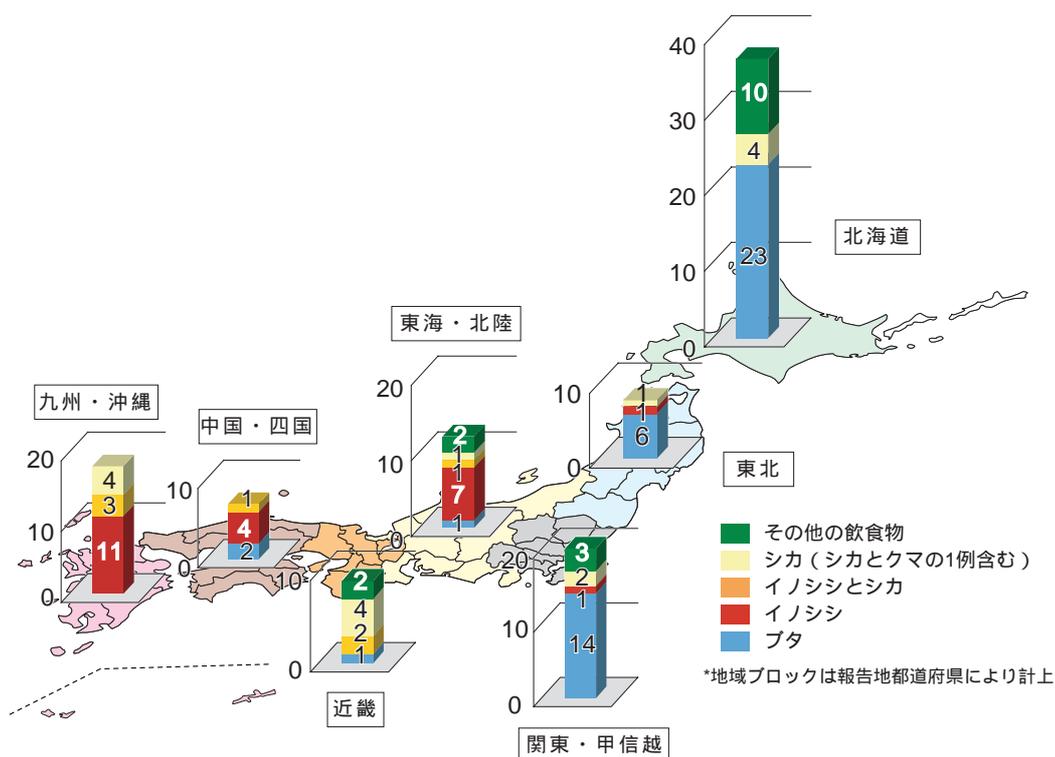


図5. E型肝炎国内・経口感染例の地域ブロック別・感染原因飲食物別報告数
(1999年4月 ~ 2008年26週)

n = 111* (飲食物が記載された経口感染例)



国外感染例

国外感染と推定された67例は、性別では男性56例、女性11例であり、年齢群別では、20代(20例)がもっとも多く、次いで、50代(14例) 30代(14例)であった。年齢の中央値は39歳(16 ~ 69歳) [男性43歳(16 ~ 69歳) 女性31歳(25 ~ 51歳)]であった。推定感染国別では中国29例(1例は香港あるいはフランス)、インド12例(1例はインドあるいはネパール、1例はインドあるいはタイ、1例はインドあるいは東南アジア) が特に多く、その他、ネパール、バングラデシュ、タイなどアジア諸国の報告がほとんどであった。

67例のうち、推定感染経路が経口感染と記載され、さらに推定される飲食物の記載のあったものは15例で、水が7例ともっとも多かった。

ウイルスの遺伝子型を把握できたのは2例で、インドでの感染が推定される1例でG1型を、タイでの感染が推定される1例でG3型であった。

まとめ

E型肝炎は輸入感染症と考えられていたが、1999年4月以降に報告された症例の大半が国内感染であり、E型肝炎ウイルスはわが国にも土着していることが示唆された。また、報告のあった自治体は必ずしも感染地域を示すわけではないものの、北海道からの報告が特に多かった。

報告された症例は50代、60代の男性に多く、この世代の男性の食行動との関連が考えられる。推定される飲食物の記載では、ブタ、イノシシ、シカなどの肉や内臓が多く、加熱不十分の可能性があるのでみならず、生食と明記された症例も少なからずみられた。イノシシやシカのような野生動物摂食については、季節性、地域性がみられていた。

今回集計した288例のなかで4例の死亡が報告されており、十分な感染予防策を講ずべき疾患といえる。E型肝炎の疫学の詳細については未だ不明な点が多いので、発生動向調査の充実が必要である。患者の疫学情報の収集に加えて、推定される感染源(特に肉、肝臓)からのウイルス遺伝子検出や遺伝子型検査なども積極的に行うことが望まれる。

E型肝炎の予防としては、流行地への渡航時には生水などに注意すること、また国内外を問わず、感染源になりうるブタ、イノシシ、シカなどの肉や内臓を食する場合には、十分加熱することが重要である。



海外感染症情報

鳥インフルエンザ - インドネシアにおける状況

WHO/EPR 2008年9月10日 - 更新44

インドネシア保健省は、鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型のヒト感染症例を2例、さかのぼって発表した。第一例目は、Banten州Tangerang地区の38歳男性であるが、2008年7月4日に発症、7月9日に入院し、7月10日に死亡した。男性の近所には、近所の人々が所有している商売のための家禽のおりを含めた、自由に動き回る家禽が居た。

第二例目は、Banten州Tangerang地区の20歳男性であるが、7月20日に発症、7月29日に入院し、7月31日に死亡した。報告によると、症例の家で飼っていた鶏が男性の発症の前の週に死亡し、男性は発症までに自家の鶏の群れをさばいて消費したことが示唆されている。

インドネシアで現在までに確認された137例のうち、112例が死亡している。

イラクにおけるコレラ流行

WHO/EPR 2008年9月10日

2008年8月20日、バグダッドとMissan 州から報告された急性水様性下痢症の患者らが、検査の結果コレラと診断された。これらの症例はイラクにおける2008年初の症例となった。8月28日までに、7人に検査室診断が下され、さらに174人の疑い例があり、これで総報告数は181人となった (Missan 州から128人、バグダッドから53人)。9月最初の週にバグダッド南方のBabil 州へアウトブレイクが波及し、同州ではこれまでに116人の疑い症例が確認されている。病原体として、*Vibrio cholerae* が、21人から検出された。現在までに10人が死亡しており、そのうちの3人で *Vibrio cholerae* が陽性だった。

今年は、コレラの再興が懸念されていた。2007年9月に、大規模なコレラのアウトブレイク (患者4,696人及び死亡者24人)があった。発生はイラク北部が中心だったが、散発例が他の州からも報告されていた。

イラク政府は多省庁で協力しながらアウトブレイク対策にあたっている。流行地域から他の地域へと感染者が拡大しないように、コレラ予防対策が実施されている。イラク保健省は、過去の経験を踏まえ、コレラの最初の症例を把握し、迅速な対応とアウトブレイク対策を実施できるように、WHOと共に、効果的なコレラサーベイランスシステムを稼働させている。

しかし、コレラ対策を進めるうえで、重要な要素である、飲料水の水質や衛生状況は劣悪なままである。長期的なコレラ菌への暴露の減少と、感染拡大の防止は、安全な水の確保と適切な衛生環境の整備に大きく依存することが、これまでの経験から分かっている。このため、WHOと、イラクの関係者の長期的な目標も飲料水の水質改善と衛生環境整備であるが、アウトブレイク発生時には、家庭レベルでの飲料水への処置、保健教育、患者への適切な対応を迅速に実施することが重要である。これらを実施するために、イラク政府は飲料水用の塩素の錠剤を各家庭に配布し、地域運動を強化している。

イラク保健省の要請に基づき、WHOは、特に検査室診断についての技術的支援を行っている。保健省とWHOの共同派遣団が間もなく現地へ派遣される予定である。

WHOは、流行地域を往来する旅行と貿易活動に対して、いかなる制限も勧告しない。しかし、近隣諸国に対して、積極的疫学調査と予防策の強化が勧められる。

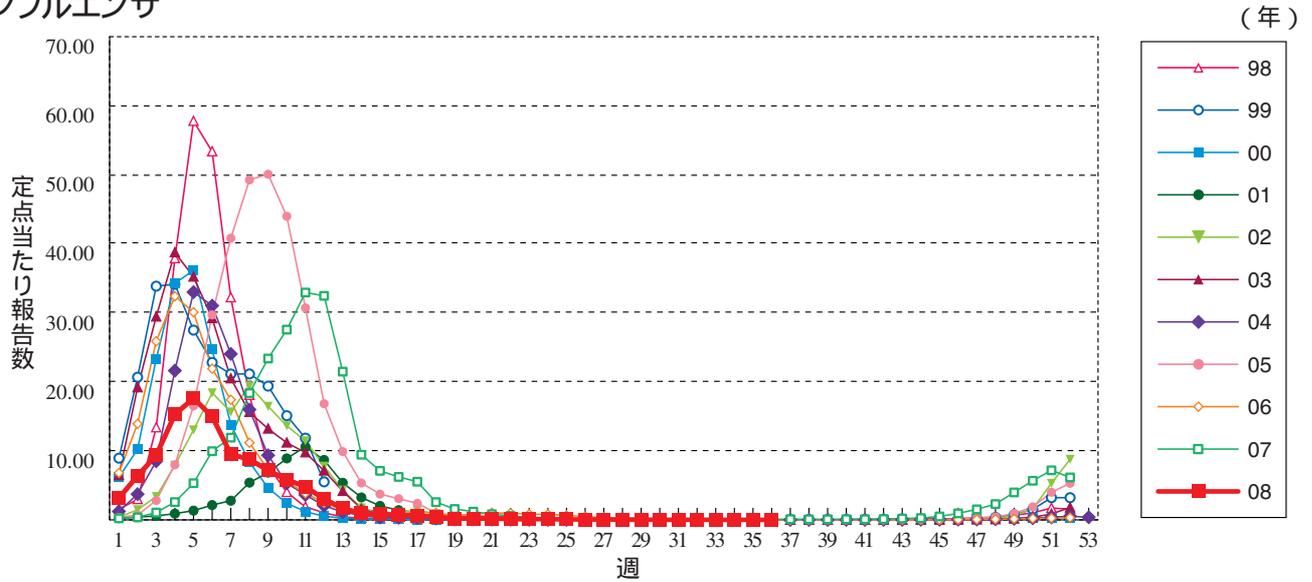


感染症の話

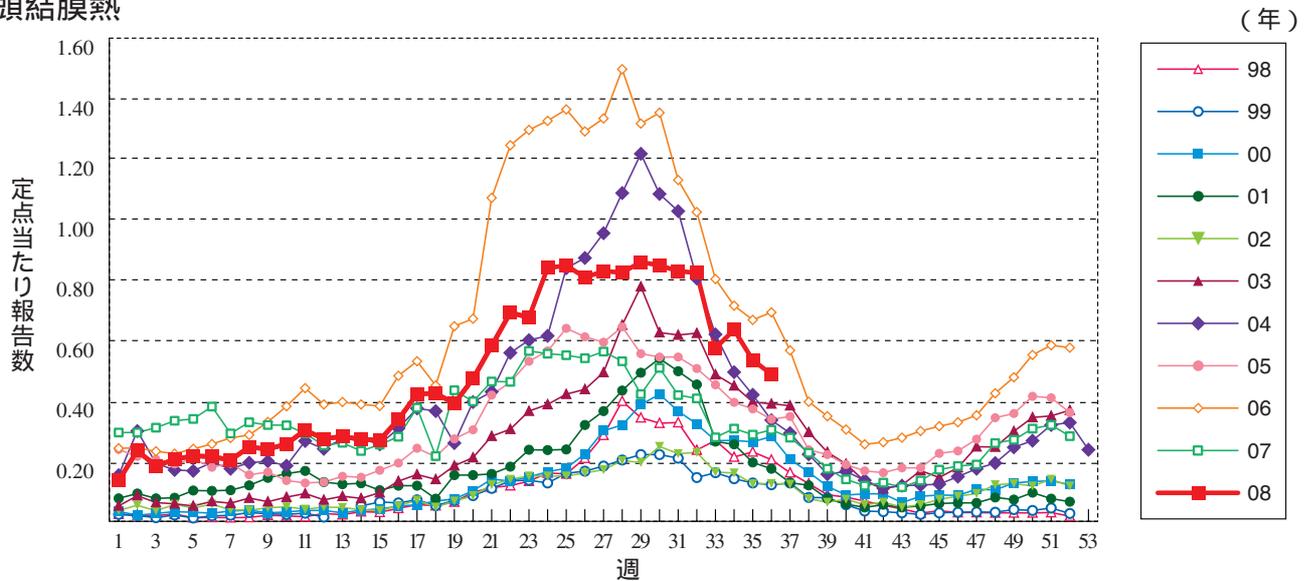
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(36週)

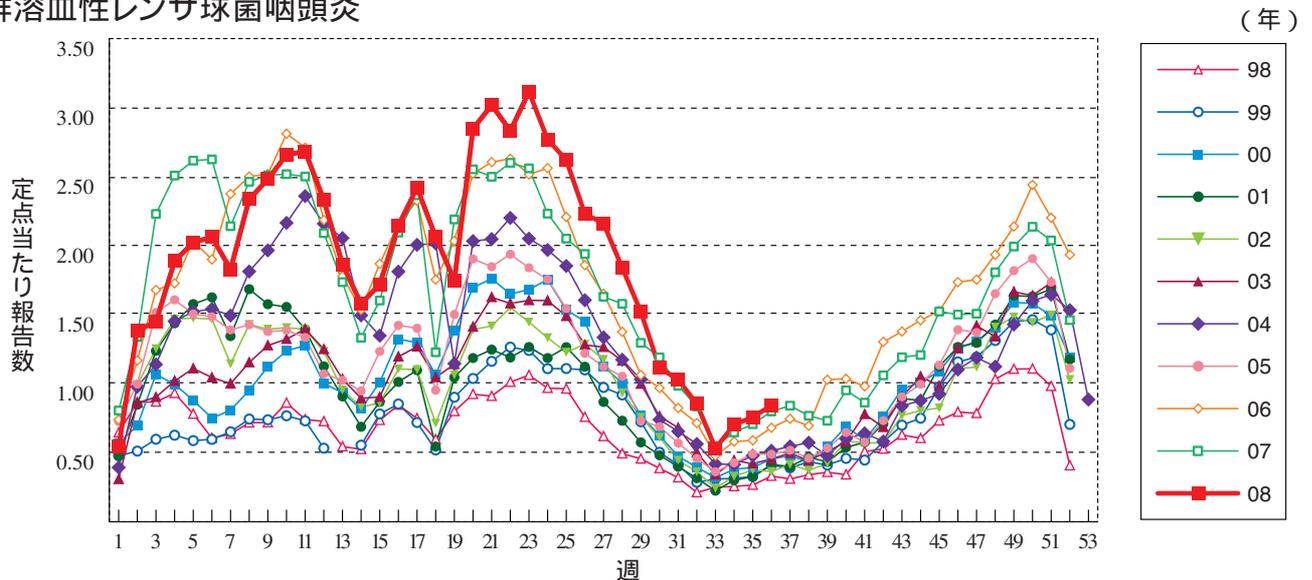
インフルエンザ



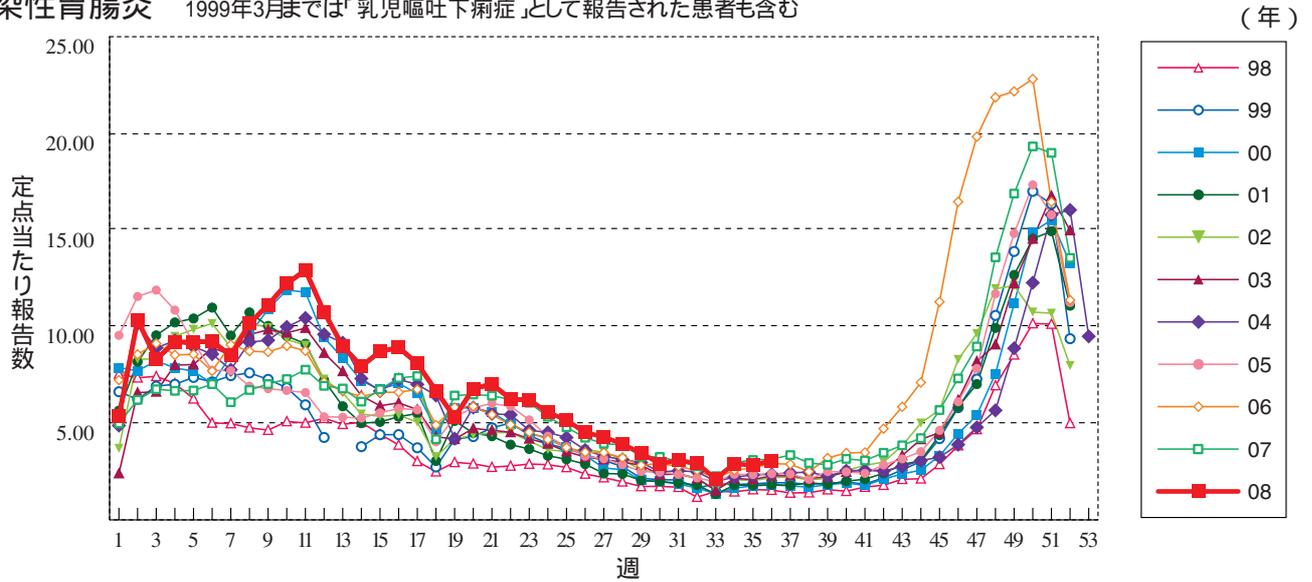
咽頭結膜熱



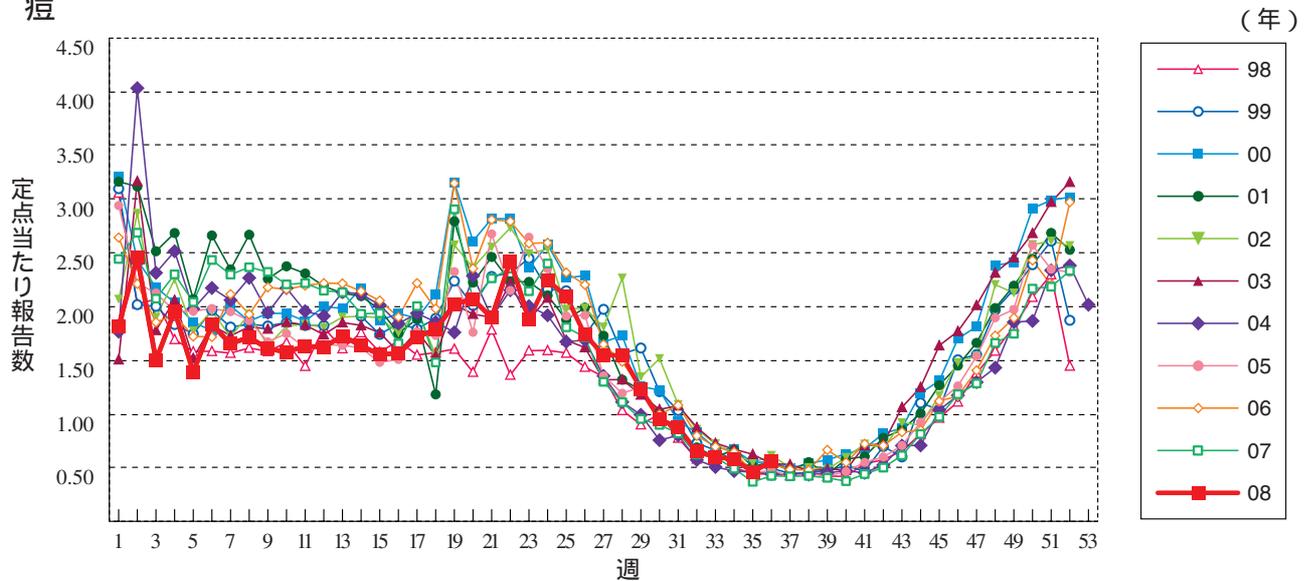
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



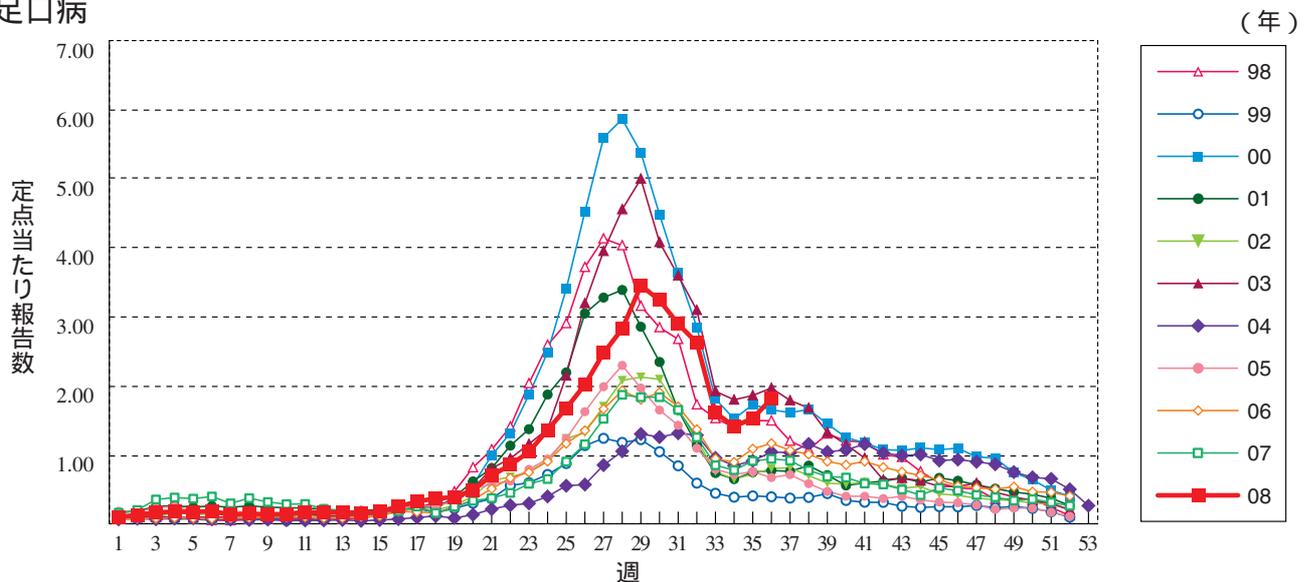
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



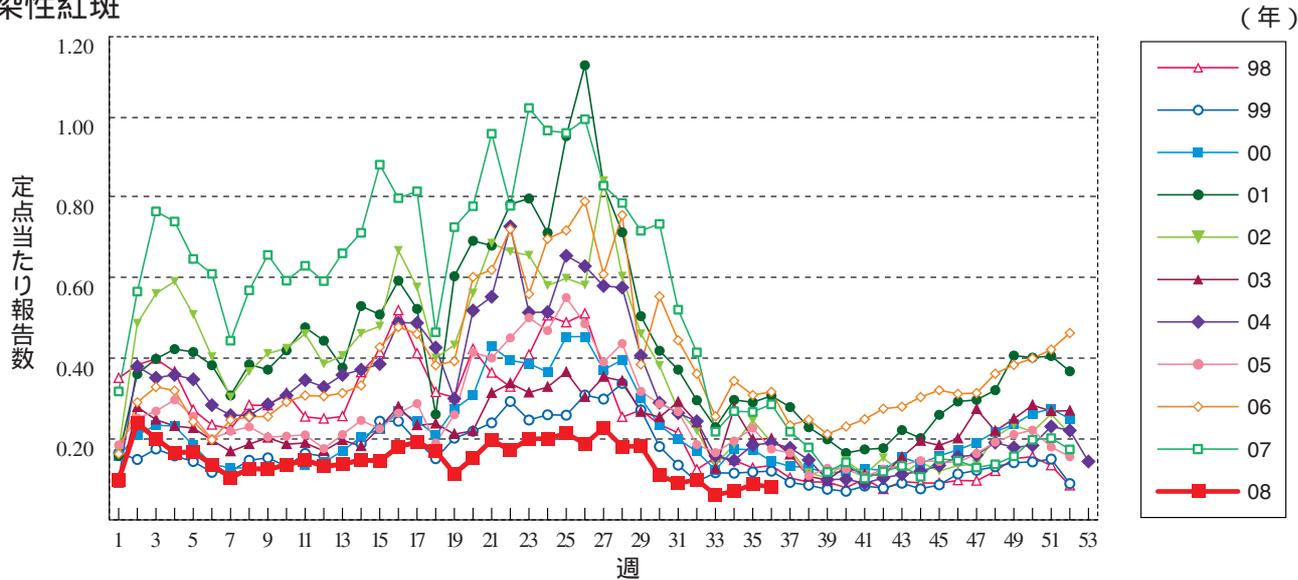
水痘



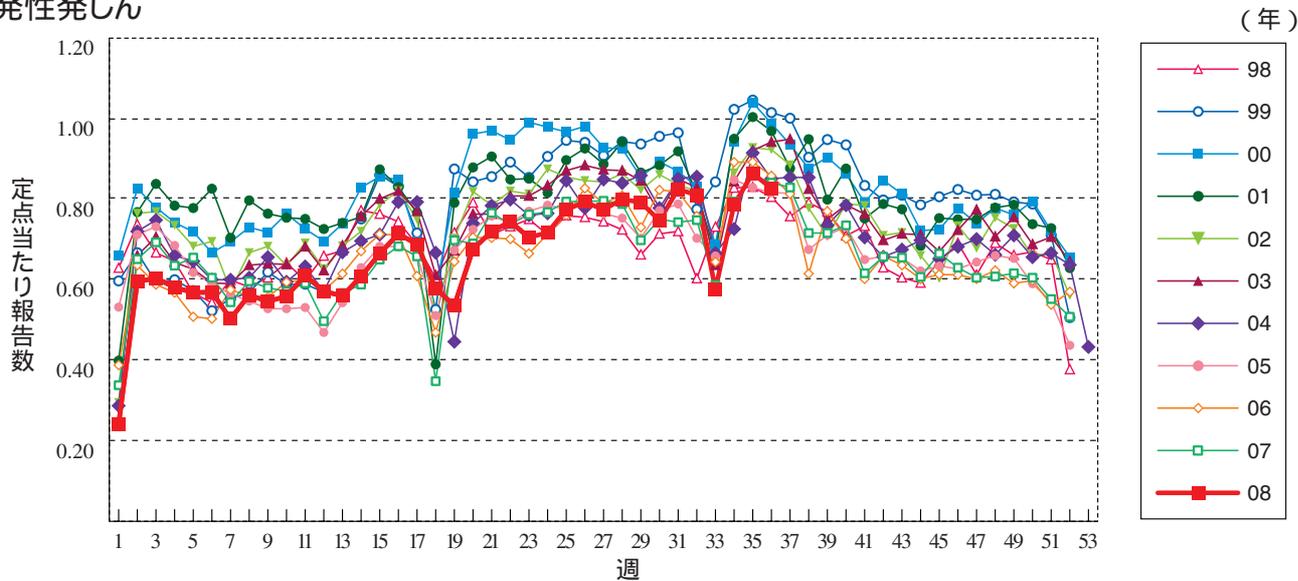
手足口病



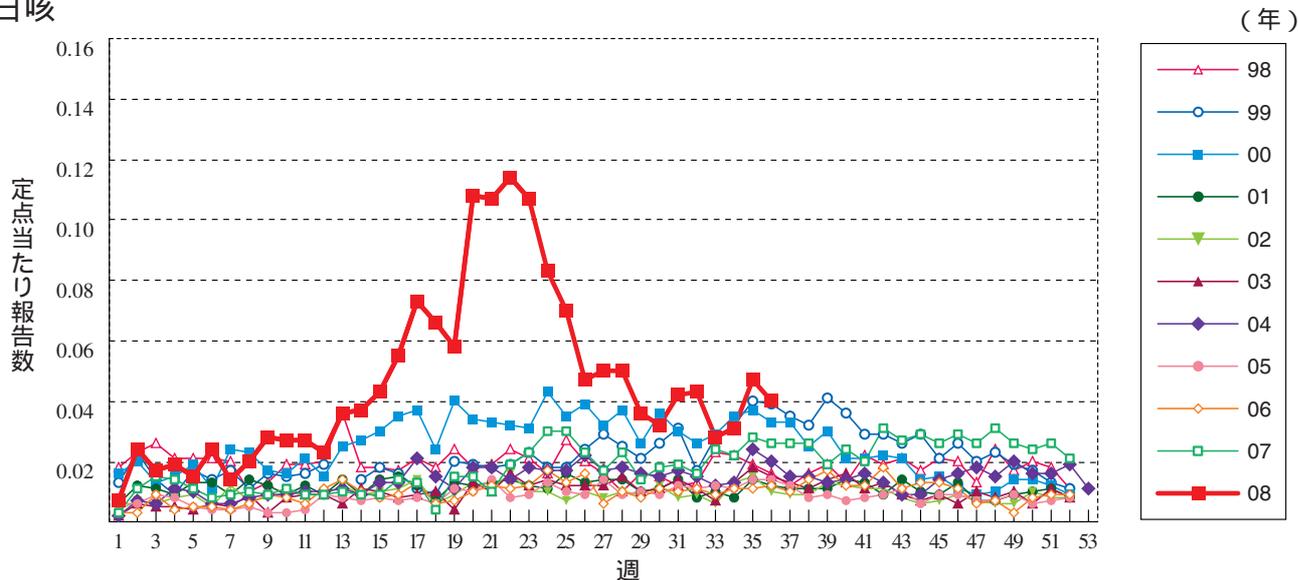
伝染性紅斑



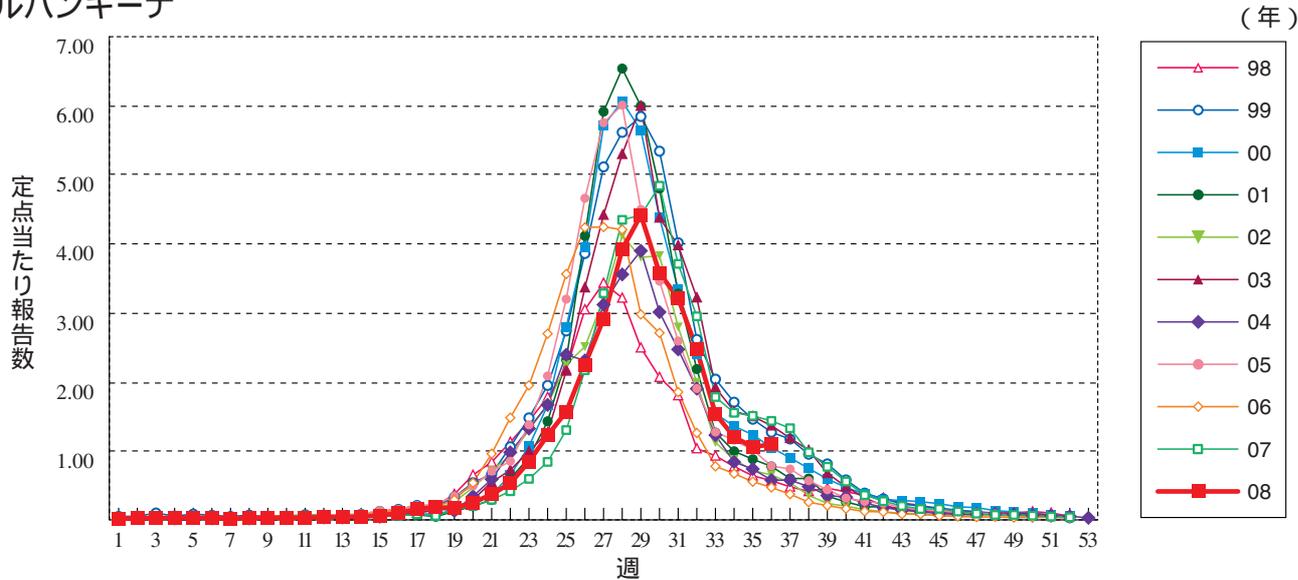
突発性発しん



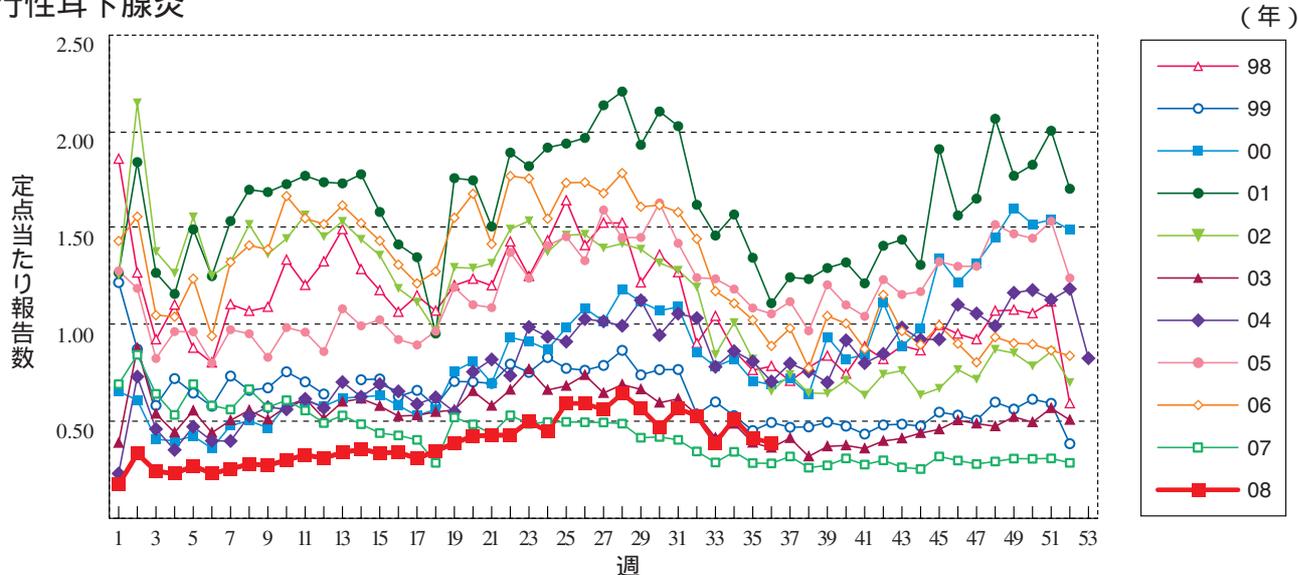
百日咳



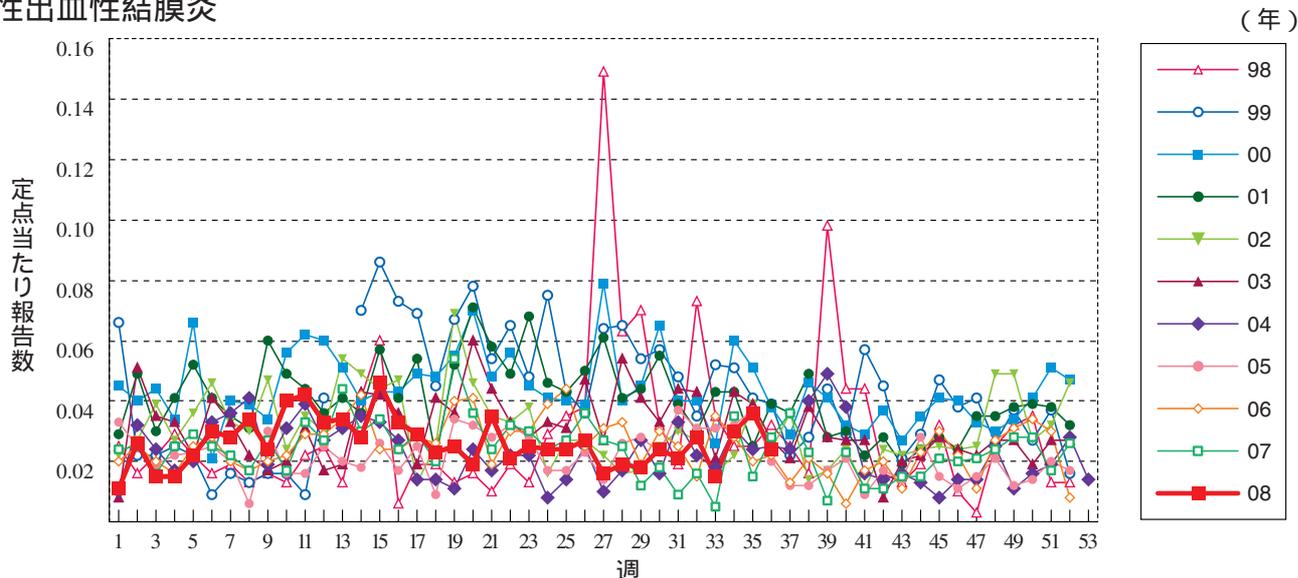
ヘルパンギーナ



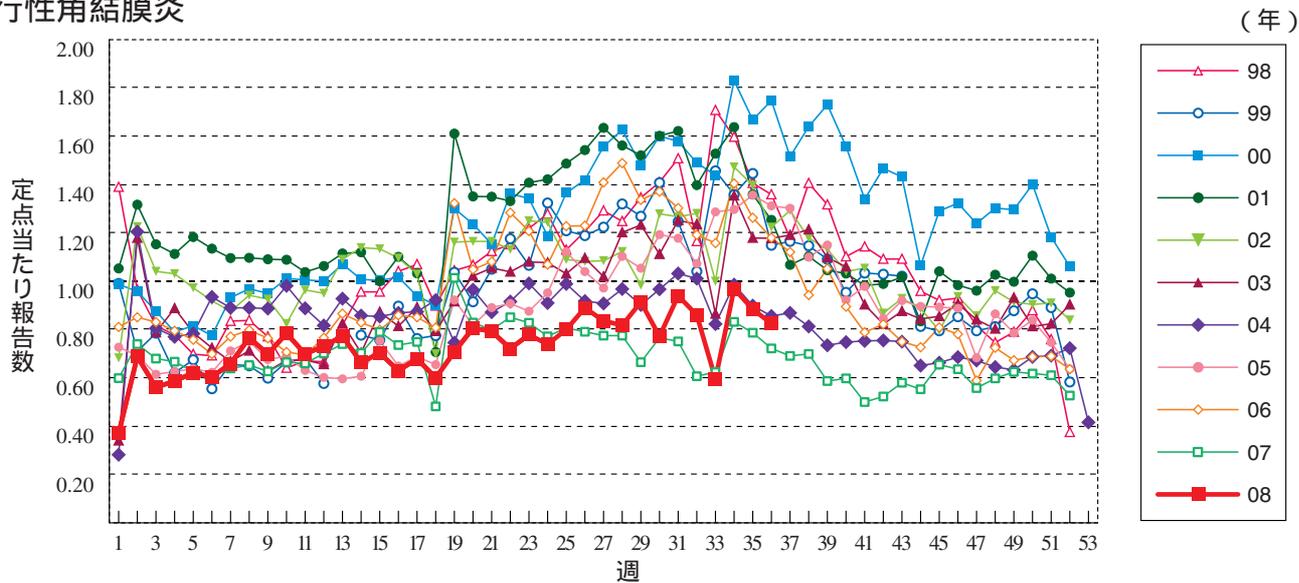
流行性耳下腺炎



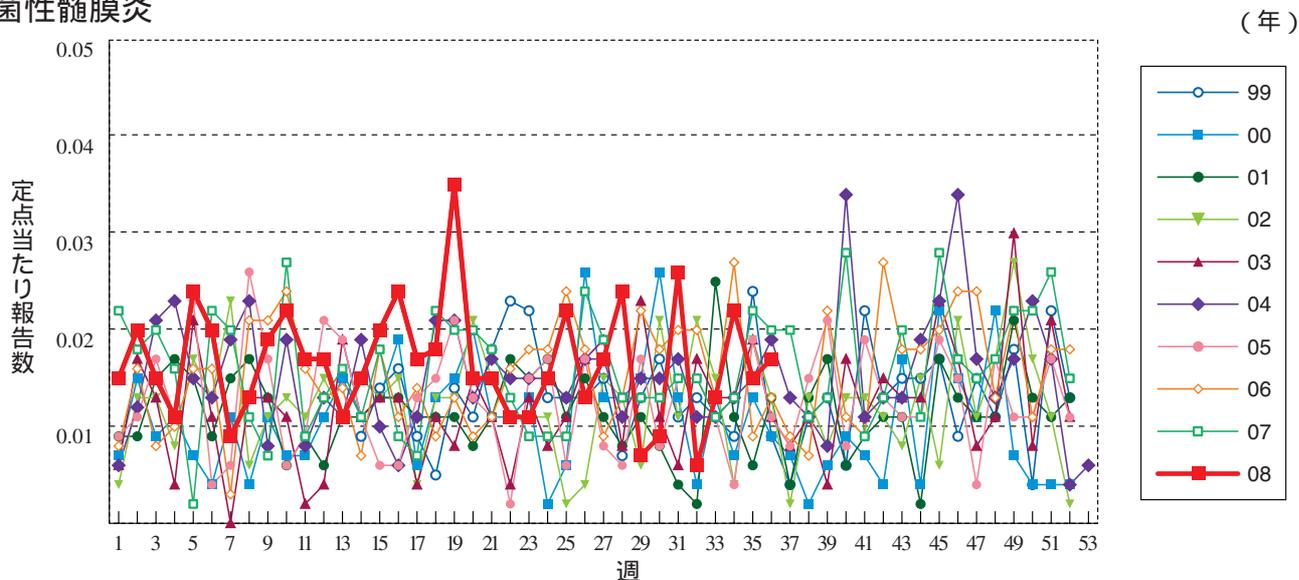
急性出血性結膜炎



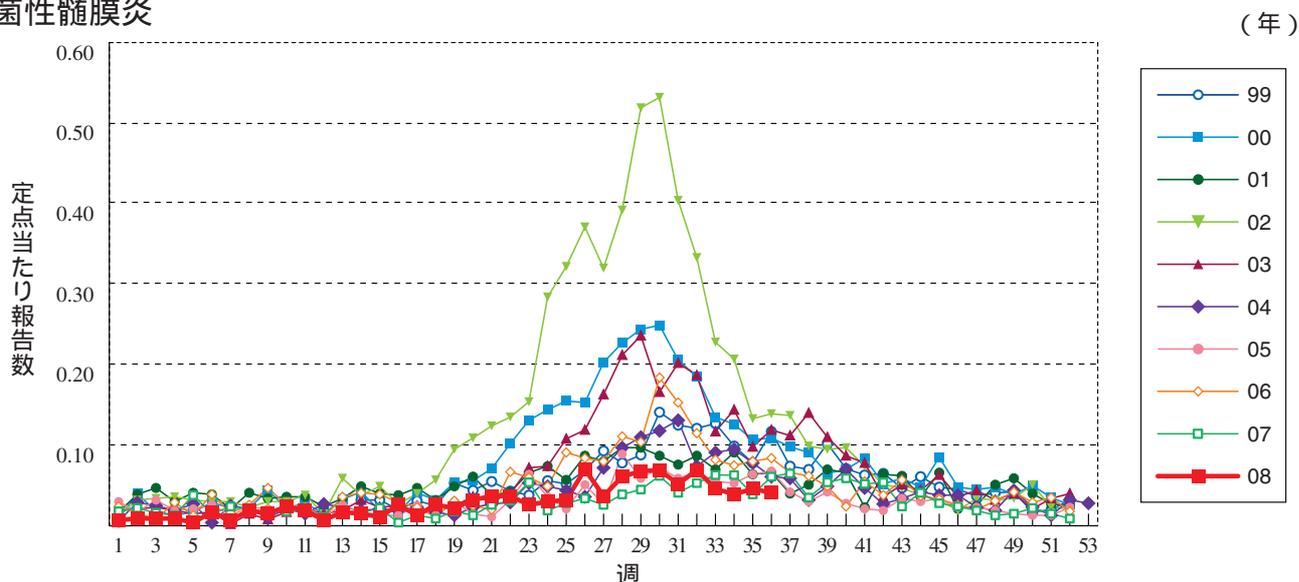
流行性角結膜炎



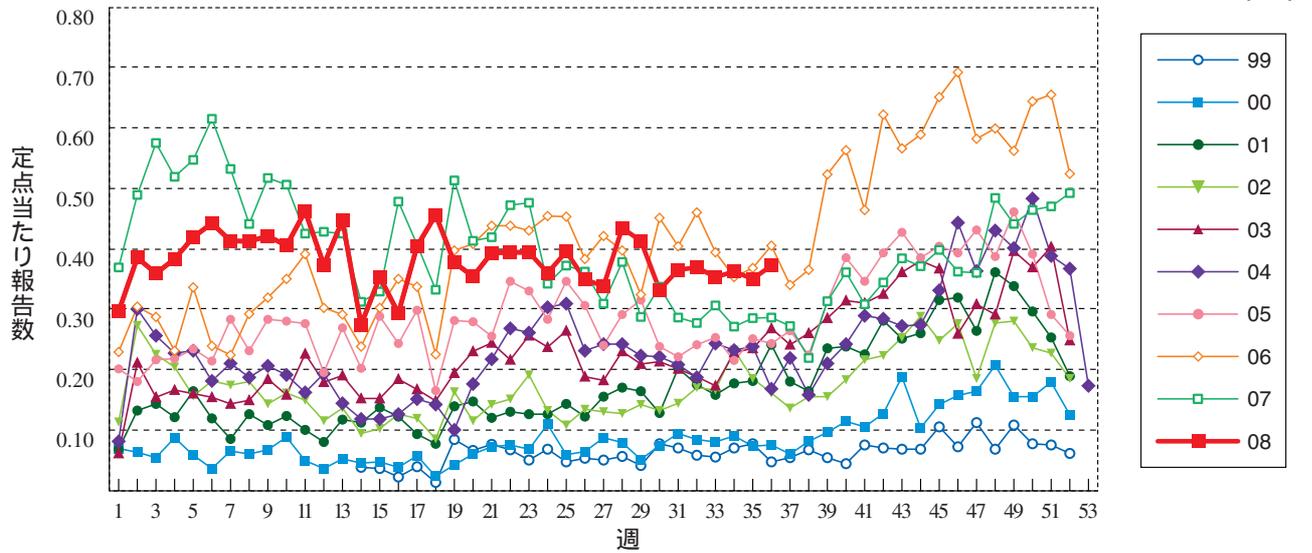
細菌性髄膜炎



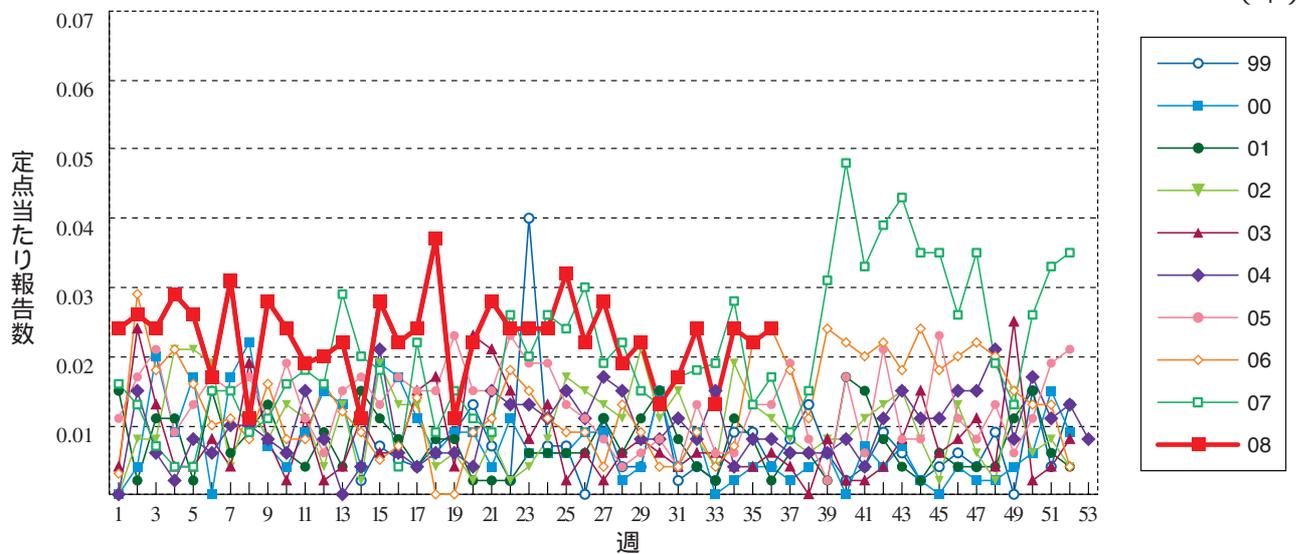
無菌性髄膜炎



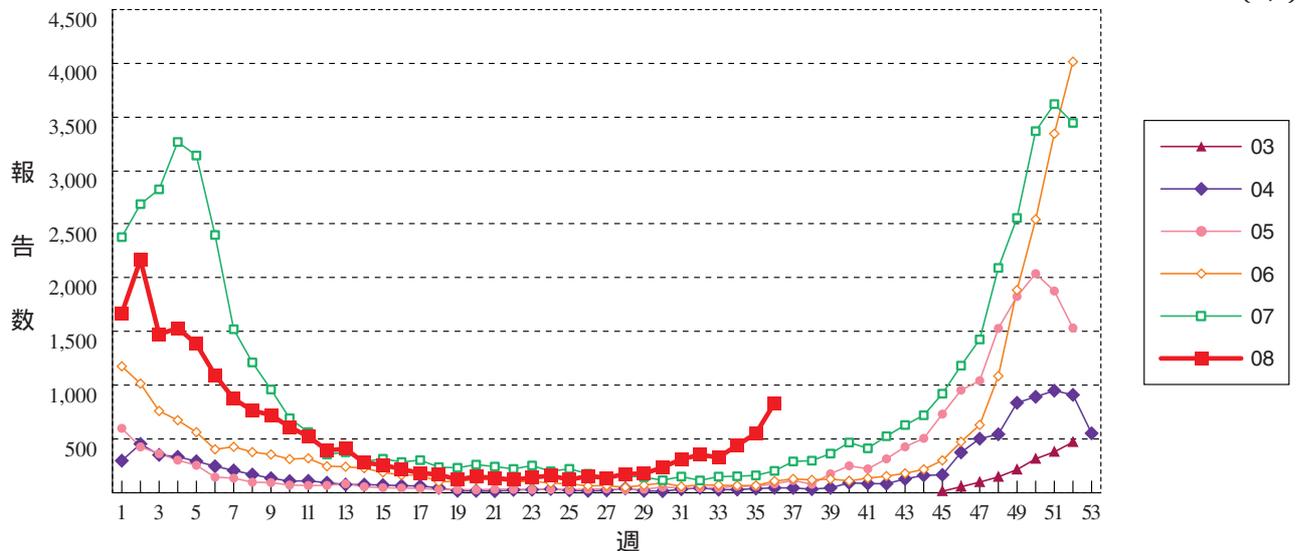
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





36週のデータ

注) 表中の報告数は9月10日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年36週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	324	18513
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	476
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	342
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	143
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	276
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	104
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	163
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	209
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	389
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	226
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	130
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	919
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	939
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	2960
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	937
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	240
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	135
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	118
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	100
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	54
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	188
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	306
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	508
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	1366
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	277
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	191
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	432
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	1323
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	651
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	262
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	208
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	98
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	207
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	429
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	207
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	148
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	144
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	174
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	109
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	834
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	116
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	285
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	236
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	224
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	192
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	275
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	189

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年36週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	38	5	222	207	3059	2	33	-	22	-	33
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	67	-	2	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	79	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	7	9	59	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	66	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	29	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	25	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	57	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	8	9	95	-	5	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	16	119	-	-	-	3	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	5	1	42	18	265	1	7	-	4	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	20	8	130	-	5	-	3	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	35	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	68	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	8	77	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	64	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	11	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	44	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	72	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	9	85	-	2	-	2	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	3	119	-	1	-	2	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	37	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	44	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	106	-	3	-	4	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	15	197	-	1	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	4	108	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	15	-	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	75	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	82	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	27	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	1	44	13	139	1	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	7	103	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	20	122	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	76	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	22	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	32	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	70	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	17	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年36週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	129	-	10	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	5	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年36週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	121	4	60
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	23
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年36週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	46	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年36週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	32	-	4	-	3	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年36週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	20	603	1	6	-	-	8	593	2	161	1	134	-	6	1	105
北海道	-	-	-	18	-	-	-	-	-	14	-	2	1	9	-	-	-	1
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	1	14	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	2	25	-	-	-	-	-	7	-	2	-	1	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	5	-	-	-	-	1	9	-	-	-	2	-	1	-	1
茨城県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	8	-	2	-	7	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	6	-	3	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	7	-	6	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	34	-	-	-	-	-	18	-	3	-	4	-	-	-	5
千葉県	-	-	1	14	-	-	-	-	2	22	-	2	-	6	-	1	-	3
東京都	-	-	1	56	1	1	-	-	1	130	-	22	-	6	-	2	-	11
神奈川県	-	-	2	31	-	1	-	-	1	56	-	6	-	6	-	-	-	12
新潟県	-	-	-	23	-	-	-	-	-	7	-	1	-	3	-	-	-	1
富山県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
長野県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	9	-	5	-	2	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	15	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-	-	1
静岡県	-	-	1	26	-	-	-	-	-	13	-	-	-	3	-	-	-	7
愛知県	-	-	2	40	-	-	-	-	-	38	-	8	-	8	-	-	-	6
三重県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	6	-	3	-	1	-	-	1	2
京都府	-	-	-	18	-	-	-	-	-	17	-	4	-	1	-	-	-	2
大阪府	-	-	2	55	-	-	-	-	1	73	2	23	-	25	-	1	-	8
兵庫県	-	-	1	30	-	-	-	-	-	28	-	13	-	7	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	1	14	-	-	-	-	-	4	-	7	-	7	-	-	-	4
広島県	-	-	2	22	-	-	-	-	-	8	-	9	-	3	-	-	-	1
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	11	-	-	-	-	1	24	-	11	-	3	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6	-	-	-	2
大分県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	4	-	1	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	1	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	6	-	3	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年36週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	86	19	1033	5	59	-	10	-	1	17	573	3	82	-	-	-	58
北海道	-	1	1	18	-	1	-	1	-	-	2	10	-	7	-	-	-	4
青森県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-
福島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	14	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	3	-	27	-	2	-	1	-	-	1	20	-	3	-	-	-	7
千葉県	-	2	-	35	-	6	-	1	-	-	-	17	1	6	-	-	-	1
東京都	-	15	6	365	1	18	-	2	-	-	6	135	-	4	-	-	-	10
神奈川県	-	4	1	55	2	10	-	-	-	1	-	22	-	3	-	-	-	7
新潟県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	1	8	-	2	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	19	-	-	-	-	-	-	-	30	-	3	-	-	-	6
愛知県	-	6	3	80	-	1	-	-	-	-	1	45	1	8	-	-	-	4
三重県	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	10	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
京都府	-	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
大阪府	1	8	5	144	1	6	-	1	-	-	3	50	-	-	-	-	-	1
兵庫県	1	10	-	27	1	2	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	11	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1
広島県	-	2	1	17	-	2	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
香川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	5	-	29	-	2	-	-	-	-	1	60	-	2	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
熊本県	-	2	1	11	-	-	-	-	-	-	-	26	-	1	-	-	-	2
大分県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	6	1	1	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-	-	-
鹿児島県	-	3	1	6	-	-	-	1	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2008年36週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	272	20	10735
北海道	1	12	-	1452
青森県	-	1	-	62
岩手県	-	2	-	9
宮城県	-	3	-	21
秋田県	-	1	-	157
山形県	-	-	-	15
福島県	-	2	-	21
茨城県	-	5	-	93
栃木県	-	5	2	38
群馬県	-	1	1	83
埼玉県	-	8	2	374
千葉県	-	9	-	1024
東京都	-	37	3	1142
神奈川県	-	32	2	3505
新潟県	-	-	-	34
富山県	-	3	-	7
石川県	-	-	-	7
福井県	-	-	-	17
山梨県	-	-	2	26
長野県	-	13	1	58
岐阜県	-	1	-	18
静岡県	-	17	-	243
愛知県	-	3	-	190
三重県	-	5	-	42
滋賀県	-	2	-	38
京都府	-	1	-	193
大阪府	-	20	1	374
兵庫県	-	14	-	137
奈良県	-	2	-	12
和歌山県	-	2	-	36
鳥取県	-	-	-	6
島根県	-	4	-	4
岡山県	-	13	-	131
広島県	-	13	-	148
山口県	-	-	-	17
徳島県	-	1	-	3
香川県	-	1	-	10
愛媛県	-	1	4	38
高知県	-	1	-	5
福岡県	-	21	2	667
佐賀県	-	-	-	6
長崎県	-	3	-	32
熊本県	-	7	-	87
大分県	-	2	-	90
宮崎県	-	1	-	9
鹿児島県	-	2	-	23
沖縄県	-	1	-	31

*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年36週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	34	0.01	1471	0.49	2544	0.84	9271	3.07	1698	0.56	5468	1.81	248	0.08	2498	0.83	121	0.04
北海道	-	-	60	0.42	162	1.14	150	1.06	91	0.64	369	2.60	9	0.06	64	0.45	4	0.03
青森県	-	-	11	0.26	25	0.60	65	1.55	23	0.55	104	2.48	6	0.14	26	0.62	-	-
岩手県	-	-	-	-	44	1.10	86	2.15	25	0.63	24	0.60	5	0.13	15	0.38	-	-
宮城県	-	-	4	0.07	39	0.65	206	3.43	23	0.38	109	1.82	9	0.15	58	0.97	2	0.03
秋田県	-	-	12	0.34	18	0.51	85	2.43	4	0.11	46	1.31	1	0.03	26	0.74	1	0.03
山形県	-	-	5	0.17	44	1.47	117	3.90	30	1.00	29	0.97	1	0.03	32	1.07	-	-
福島県	-	-	20	0.42	30	0.63	112	2.33	16	0.33	77	1.60	19	0.40	41	0.85	6	0.13
茨城県	-	-	9	0.12	69	0.92	140	1.87	28	0.37	87	1.16	7	0.09	41	0.55	1	0.01
栃木県	4	0.05	2	0.04	31	0.65	63	1.31	22	0.46	28	0.58	5	0.10	39	0.81	2	0.04
群馬県	-	-	38	0.61	47	0.76	202	3.26	36	0.58	112	1.81	3	0.05	44	0.71	3	0.05
埼玉県	-	-	72	0.46	180	1.15	551	3.53	78	0.50	146	0.94	31	0.20	135	0.87	8	0.05
千葉県	-	-	34	0.26	148	1.15	362	2.81	88	0.68	156	1.21	15	0.12	128	0.99	12	0.09
東京都	4	0.01	61	0.41	128	0.87	465	3.16	64	0.44	184	1.25	7	0.05	128	0.87	5	0.03
神奈川県	-	-	49	0.25	141	0.71	516	2.58	69	0.35	484	2.42	35	0.18	183	0.92	6	0.03
新潟県	1	0.01	55	0.90	80	1.31	103	1.69	71	1.16	758	12.43	15	0.25	56	0.92	5	0.08
富山県	-	-	9	0.31	18	0.62	119	4.10	21	0.72	75	2.59	1	0.03	19	0.66	1	0.03
石川県	-	-	7	0.24	22	0.76	98	3.38	14	0.48	94	3.24	-	-	18	0.62	-	-
福井県	-	-	7	0.32	22	1.00	129	5.86	9	0.41	50	2.27	-	-	10	0.45	-	-
山梨県	-	-	8	0.35	20	0.87	55	2.39	16	0.70	5	0.22	-	-	9	0.39	-	-
長野県	-	-	21	0.38	67	1.22	154	2.80	26	0.47	174	3.16	7	0.13	32	0.58	5	0.09
岐阜県	1	0.01	21	0.40	18	0.34	102	1.92	23	0.43	123	2.32	1	0.02	35	0.66	1	0.02
静岡県	-	-	62	0.72	81	0.94	295	3.43	31	0.36	155	1.80	2	0.02	84	0.98	3	0.03
愛知県	-	-	39	0.22	151	0.83	512	2.83	105	0.58	224	1.24	8	0.04	175	0.97	9	0.05
三重県	-	-	28	0.62	23	0.51	219	4.87	36	0.80	91	2.02	2	0.04	49	1.09	2	0.04
滋賀県	-	-	11	0.33	8	0.24	121	3.67	17	0.52	39	1.18	-	-	18	0.55	-	-
京都府	-	-	25	0.34	42	0.58	186	2.55	38	0.52	69	0.95	3	0.04	42	0.58	2	0.03
大阪府	4	0.02	111	0.58	218	1.14	595	3.12	106	0.55	138	0.72	7	0.04	149	0.78	5	0.03
兵庫県	-	-	41	0.32	57	0.44	402	3.12	59	0.46	203	1.57	11	0.09	95	0.74	6	0.05
奈良県	-	-	23	0.66	7	0.20	105	3.00	5	0.14	52	1.49	1	0.03	18	0.51	-	-
和歌山県	-	-	22	0.71	15	0.48	75	2.42	16	0.52	14	0.45	-	-	27	0.87	2	0.06
鳥取県	-	-	9	0.47	31	1.63	85	4.47	5	0.26	10	0.53	-	-	13	0.68	-	-
島根県	-	-	15	0.65	22	0.96	129	5.61	10	0.43	24	1.04	-	-	22	0.96	1	0.04
岡山県	-	-	17	0.31	27	0.50	239	4.43	24	0.44	127	2.35	3	0.06	31	0.57	1	0.02
広島県	-	-	20	0.28	38	0.54	255	3.59	68	0.96	109	1.54	13	0.18	61	0.86	4	0.06
山口県	-	-	15	0.30	48	0.96	201	4.02	32	0.64	96	1.92	-	-	60	1.20	2	0.04
徳島県	-	-	22	0.96	7	0.30	65	2.83	42	1.83	12	0.52	-	-	20	0.87	-	-
香川県	1	0.02	18	0.64	5	0.18	104	3.71	9	0.32	39	1.39	1	0.04	26	0.93	-	-
愛媛県	-	-	50	1.35	29	0.78	144	3.89	27	0.73	69	1.86	-	-	53	1.43	3	0.08
高知県	-	-	19	0.63	12	0.40	79	2.63	13	0.43	13	0.43	2	0.07	13	0.43	-	-
福岡県	1	0.01	92	0.77	134	1.12	518	4.32	83	0.69	234	1.95	6	0.05	125	1.04	10	0.08
佐賀県	-	-	24	1.04	13	0.57	36	1.57	21	0.91	48	2.09	-	-	35	1.52	-	-
長崎県	-	-	28	0.64	25	0.57	100	2.27	23	0.52	57	1.30	-	-	34	0.77	1	0.02
熊本県	-	-	27	0.56	26	0.54	218	4.54	42	0.88	234	4.88	2	0.04	48	1.00	-	-
大分県	-	-	42	1.17	82	2.28	278	7.72	25	0.69	67	1.86	3	0.08	52	1.44	1	0.03
宮崎県	-	-	62	1.72	41	1.14	228	6.33	48	1.33	24	0.67	1	0.03	49	1.36	2	0.06
鹿児島県	-	-	116	2.11	37	0.67	164	2.98	17	0.31	52	0.95	2	0.04	45	0.82	2	0.04
沖縄県	18	0.31	28	0.82	12	0.35	38	1.12	19	0.56	34	1.00	4	0.12	15	0.44	3	0.09

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年36週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	3307	1.09	1180	0.39	16	0.02	557	0.83	8	0.02	19	0.04	171	0.37	11	0.02	836
北海道	275	1.94	14	0.10	1	0.03	19	0.66	-	-	-	-	2	0.09	-	-	19
青森県	107	2.55	8	0.19	-	-	3	0.27	-	-	-	-	6	1.00	-	-	21
岩手県	55	1.38	3	0.08	-	-	11	0.79	-	-	1	0.05	3	0.15	-	-	1
宮城県	148	2.47	7	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	14	1.17	-	-	8
秋田県	101	2.89	30	0.86	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.13	-	-	6
山形県	149	4.97	16	0.53	1	0.13	-	-	-	-	-	-	3	0.30	1	0.10	-
福島県	114	2.38	8	0.17	-	-	11	0.92	-	-	-	-	11	1.57	3	0.43	14
茨城県	51	0.68	5	0.07	-	-	25	1.47	-	-	-	-	2	0.15	-	-	1
栃木県	15	0.31	8	0.17	-	-	9	0.75	-	-	-	-	3	0.43	-	-	5
群馬県	35	0.56	29	0.47	-	-	15	1.07	-	-	-	-	10	1.25	-	-	1
埼玉県	161	1.03	66	0.42	1	0.02	26	0.62	-	-	-	-	9	1.00	3	0.33	4
千葉県	111	0.86	46	0.36	2	0.06	25	0.81	-	-	-	-	-	-	-	-	11
東京都	180	1.22	49	0.33	1	0.03	16	0.43	1	0.04	1	0.04	7	0.30	1	0.04	21
神奈川県	217	1.09	55	0.28	1	0.02	52	1.24	-	-	1	0.14	-	-	-	-	7
新潟県	288	4.72	9	0.15	1	0.10	3	0.30	-	-	-	-	1	0.08	1	0.08	9
富山県	28	0.97	4	0.14	1	0.14	3	0.43	-	-	1	0.20	3	0.60	-	-	-
石川県	5	0.17	5	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.60	-	-	18
福井県	22	1.00	23	1.05	-	-	-	-	1	0.17	-	-	3	0.50	-	-	7
山梨県	28	1.22	2	0.09	-	-	7	0.78	-	-	-	-	2	0.20	-	-	-
長野県	164	2.98	20	0.36	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	21	0.40	39	0.74	-	-	10	0.91	-	-	-	-	1	0.20	-	-	5
静岡県	74	0.86	27	0.31	-	-	17	0.85	-	-	-	-	5	0.56	-	-	3
愛知県	71	0.39	108	0.60	-	-	10	0.30	2	0.13	-	-	9	0.60	2	0.13	9
三重県	34	0.76	12	0.27	-	-	5	0.42	1	0.11	-	-	9	1.00	-	-	2
滋賀県	24	0.73	32	0.97	-	-	2	0.25	2	0.29	1	0.14	2	0.29	-	-	-
京都府	35	0.48	12	0.16	-	-	12	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	133	0.70	77	0.40	1	0.02	17	0.33	-	-	1	0.07	19	1.36	-	-	101
兵庫県	82	0.64	58	0.45	-	-	34	0.97	-	-	1	0.11	-	-	-	-	26
奈良県	12	0.34	16	0.46	-	-	5	0.56	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-	7
和歌山県	39	1.26	3	0.10	1	0.25	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	7
鳥取県	20	1.05	1	0.05	-	-	9	3.00	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-
島根県	28	1.22	2	0.09	-	-	4	1.33	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-
岡山県	11	0.20	15	0.28	-	-	11	0.92	-	-	1	0.20	6	1.20	-	-	2
広島県	36	0.51	6	0.08	-	-	28	1.47	-	-	2	0.10	3	0.14	-	-	20
山口県	46	0.92	13	0.26	1	0.11	6	0.67	-	-	-	-	1	0.11	-	-	64
徳島県	18	0.78	11	0.48	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	27
香川県	15	0.54	6	0.21	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	38	1.03	34	0.92	1	0.13	17	2.13	-	-	-	-	1	0.17	-	-	3
高知県	13	0.43	39	1.30	-	-	6	2.00	-	-	-	-	2	0.29	-	-	7
福岡県	108	0.90	91	0.76	1	0.04	29	1.12	-	-	-	-	-	-	-	-	295
佐賀県	27	1.17	43	1.87	-	-	1	0.25	-	-	-	-	5	0.83	-	-	18
長崎県	17	0.39	17	0.39	2	0.25	16	2.00	-	-	1	0.08	1	0.08	-	-	20
熊本県	54	1.13	18	0.38	-	-	35	3.89	-	-	1	0.07	1	0.07	-	-	8
大分県	33	0.92	7	0.19	-	-	4	0.80	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-	12
宮崎県	45	1.25	63	1.75	-	-	13	2.17	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	8
鹿児島県	10	0.18	17	0.31	-	-	8	1.14	-	-	1	0.08	2	0.17	-	-	13
沖縄県	9	0.26	6	0.18	-	-	16	1.60	-	-	2	0.29	18	2.57	-	-	19

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年36週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	24
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年36週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第10巻 第36号 2008年9月22日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。